上野運動公園野球場
スコアボード整備工事 設計図

上野運動公園野球場 スコアボード整備工事　図面リスト

建築意匠図面			建築構造図面			電気設備図面			機械設備図面		
NUMBER	DRAWING	SCALE	NUMBER	DRAWING	SCALE	NUMBER	DRAWING	SCALE	NUMBER	DRAWING	SCALE
A－1	改修工事 特記仕様書①	－	S－1	鉄筋コンクリート構造 配筋標準図①	－	E－1	特記仕様書	－			
A－2	改修工事 特記仕様書②	－	S－2	鉄筋コンクリート構造 配筋標準図②	－	E－2	本部席廻り設備図	1:100			
A－3	改修工事 特記仕様書③	－	S－3	鉄骨工作標準図①	－	E－3	スコアボード 改修配置図	1:600			
A－4	改修工事 特記仕様書④	－	S－4	鉄骨工作標準図②	－	E－4	スコアボード 仕様書	－			
A－5	仮設計画図	1:600	S－5	H型鋼 継手標準図①	－	E－5	スコアボード 外観図	－			
A－6	既設スコアボード参考図（撤去）	1:50	S－6	スコアボード架台基礎 詳細図	1:40	E－6	スコアボード システム系統図・姿図1	－			
			S－7	スコアボード架台 詳細図①	1:40	E－7	スコアボード 姿図2	－			
			S－8	スコアボード架台 詳細図②	1:40	E－8	既設設備図	1:600			
			S－9	スコアボード架台 詳細図③	1:15						

建築意匠図面	A－ 6
建築構造図面	S－ 9
電気設備図面	E－ 8
合 計	23

工 事 名　　上野運動公園野球場スコアボード整備工事

Ⅰ　工事概要

１．工事場所　伊賀市小田町地内

２．工事内容　下記の事項に拠る。

＜１－１＞　既設スコアボード解体・撤去工事、新設スコアボード設置工事
上記に伴う、解体撤去工事
上記に伴う、建築主体工事
上記に伴う、電気設備工事

＜２－１＞　上記に伴う、廃材処分

Ⅱ　建築改修工事仕様

１．共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、「公共建築工事標準仕様書」、「公共建築改修工事標準仕様書」（以下「改標仕」）による。

２．特記仕様

(1)項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

(2)特記事項は、◎の付いたものを適用する。

◎印が付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

◎印と※印の付いた場合は、共に適用する。

(3)特記事項に記載の（　）内表示番号は建築改修工事標準仕様書の当該図又は当該表を示す。

章	項　目	特　記　事　項
1 一般共通事項	① 適用基準等	⊙公共建築工事標準仕様書　国土交通大臣官房官庁営繕部監修（最新版） ⊙公共建築改修工事標準仕様書　国土交通大臣官房官庁営繕部監修（最新版） ⊙建築工事標準詳細図　国土交通大臣官房官庁営繕部監修（最新版）
	② 書類の書式等	※施工体制台帳及び施工体系図の作成については、建設業法及び公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律に従ってこれを行うとともに、監督職員に提出する。(1.1.5)
	③ 疑義に対する協議等	※設計図書に定められた内容に疑義が生じたり、現場の納まり又は取合い等の関係で、設計図書によることが困難又は不都合な場合、並びに設計図書に記載されていない見え隠れ部分に不都合が認められた場合は、監督職員と協議する。(1.1.8)
	④ 工事関係図書	※工事の着手に先立ち以下のものを作成し、監督職員の承諾を受ける。(1.2.1～1.2.3) 1）実施工程表　2）施工計画書　3）施工図等 ※工事の記録は監督職員の指示した事項及び監督職員と協議した結果について記録を整備する。(1.2.4)
	⑤ 工事現場管理	※設計図書に適合する工事目的物を完成させるために、施工管理体制を確立し品質、工程、安全等の施工管理を行う。(1.3.1) ※施工管理技術者　※適用する (1.3.2) ⊙電気保安技術者　※適用する (1.3.3)
	⑥ 施工条件	※進捗条件は下記のとおりとするが、現場の実情に応じて変更することもある。 ⊙契約日から　月　日　～　月　日 ・　月　日　～　月　日 ⊙監督員と協議し決定する。(1.3.5) 施工可能日　◎指定なし　・土、日曜日、祝祭日施工 施工可能時間帯　※指定なし　⊙8時　～１７時 部位別の施工順序　◎指定なし 工事車両の駐車場　※指定なし　⊙敷地内（図示）
	⑦ 発生材の処理等	・引き渡しを要するもの（　）(1.3.8) ・特別管理産業廃棄物　※有（　） 処理方法（　） ・現場において再利用を図るもの（　） ・再生資材の利用を図るもの ・アスファルトコンクリート塊 ・セメントコンクリート塊 ・建設発生木材 ・引渡を要するもの、再生資源の利用を図るものについては調書作成し、監督員へ提出すること。 ○引渡を要しないものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、再生資源の利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令に従い適切処理し、監督員に報告する。 （マニフェストA票を提示し、E票については写しを提出すること。）
	⑧ 建築材料等	※本工事に使用する建築材料等は、建設大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業　建築材料等評価名簿」（平成２２年版）（以下「評価名簿」という）及び別記記載の資材及び見積りメーカー（参考）又はこれらと同等とする。 品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先使用に努めること。 また、建設工事で得られた再生資源の活用はもちろんのこと、他産業の廃棄物で得られた再生資源についても利用促進を図るものとする。 ※合板、木質系ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ、構造用ﾊﾟﾈﾙ、集成材、単板積層材、MDF、ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ、その他の木質建材、ﾕﾘｱ樹脂及び仕上げ塗材は、ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞを発散しないか、発散の少ないものとする。保温材、緩衝材、断熱材はﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ及びｽﾁﾚﾝを発散しないか、発散の少ないものとする。接着剤は、ﾌｪﾉｰﾙ酸ｼﾞｰn-ﾌﾞﾁﾙ及びﾌｪﾉｰﾙ酸ｼﾞｰn-ｴﾁﾙﾍｷｼﾙを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ｱｾﾄｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ﾄﾙｴﾝ、ｷｼﾚﾝ、ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝを発散しないか、発散が少ないものとする。塗料は、ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ﾄﾙｴﾝ、ｷｼﾚﾝ、ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝを発散しないか、発散が少ないものとする。これらの建築材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他什器等は、ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞを発散しないか、発散が少ないものとする。
	⑨ 施工中の安全管理	※接着剤及び塗料の塗布にあたっては、使用方法及び塗布料を十分に管理し、適切な乾燥時間をとるものとする。また、施工時、施工後の通風、換気を十分に行い、室内に発散した化学物質等を室外へ放出させること。
	10 施工数量調査	調査範囲　※図示　・ (1.5.2) 調査方法　※図示　・
	11 調査のための破壊部分の補修	補修方法　※図示　・ (1.5.3)
	12 技能士	※職種別に可能なものについては積極的に活用すること。(1.6.2)
	13 化学物質の濃度測定	※測定する　・測定しない (1.6.6) ※測定対象化学物質（○で示したものとする。） ホルムアルデヒド / トルエン / キシレン / スチレン / エチルベンゼン / パラジクロロベンゼン / その他（　） ※測定対象室及び測定個所数（※図示　・　箇所） ※測定方法（※パッシブ法　・アクティブ法） ※報告書　2部
	⑭ 特別な材料の工法	※公共建築改修工事標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。
	⑮ 騒音・振動の防止	※低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定に基づき指定された建設機械をできる限り使用する。
	⑯ 排出ｶﾞｽ対策建設機械の使用	※排出ガス対策型建設機械指定要領に基づき指定された排出ガス対策型建設機械をできる限り使用する。
	⑰ 工事写真	着工時　－　敷地及び周辺の道路、建築物、工作物等の現況の撮影。（Ｅ版1部） 工事中　－　進捗状況の撮影記録をすると共に、特に竣工後、隠ぺい又は埋設される部分は被写体に巾広テープを添えて撮影する。（Ｅ版1部）
	⑱ 完成図	※作成する　（※完成図　・保全に関する資料）(1.8.2) ※完成図作図範囲　（配置図、平面図、立面図、断面図、仕上表、設備図等　） 完成図の著作権にかかる使用権は発注者に移譲するものとする。 ＣＡＤによる作成　（※要　・不要）ただし、作成できない場合は監督員との協議による。 ＣＡＤデータの提出（※要　・不要）ただし、提出できない場合は監督員との協議による。
	⑲ 完成写真	※台紙貼り１部（ｶﾗｰｻｰﾋﾞｽ版） ・ｱﾙﾊﾞﾑ１部（大きさ335mm×290mm程度、ｶﾗｰｻｰﾋﾞｽ版） ※箇所数は外観４面各室２面程度とする。規定の箇所数が確保できない場合には、監督員と協議すること。
	⑳ 設備工事との取合い	施工範囲 ※図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔・開口部の補強 ※図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強 ※自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強 ※駆動装置が電動による建具等の２次側の配管・配線及び操作スイッチ 施工図 設備機器の位置、取合いなどの検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受ける。
	㉑ 養生その他	工事施工に際し、在来部分を汚損した場合又は損傷した場合は、構造・仕上げ共在来にならい補修する。
	㉒ 事故報告	工事施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督員に通報するとともに、事故の発生報告書を監督員に速やかに提出すること。
2 仮設工事	① 外部足場	外部足場の種別　※Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種 (2.2.1)(表2.2.1) 外部足場の保護シート等による養生　※適用する　・適用しない (2.2.1)
	２ 材料、撤去	種別　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　・Ｅ種 (表2.2.2)
	３ 既存ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞｶｰﾃﾝ等の養生	養生方法　※塗替え改修部は、ｶｰﾃﾝ脱着（ﾚｰﾙ共）とする。(2.3.1) 保管場所　※構内既存施設内
	４ 仮設間仕切り	・Ａ種　・Ｂ種　※Ｃ種 (2.3.2)(表2.3.1) 合板又は石こうボードの塗装　・行う　※行わない
	５ 監督員事務所	・構内建物内の一部を使用する。(2.4.1) ・設置する 監督職員事務所の規模（単位：㎡） 面積　・10㎡程度　・20㎡程度　・35㎡程度　・65㎡程度　・100㎡程度 監督員事務所の仕上げ 部位等　仕上げ 床　合板張り又はﾋﾞﾆｰﾙ床ｼｰﾄ張り 内壁・天井　合板又はせっこうﾎﾞｰﾄﾞ張り、合成樹脂ｴﾏﾙｼﾞｮﾝ塗り 屋根　装溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗り ※設けない
	６ 監督員事務所の備品等	・机椅子・書棚黒板・製図板・掛け時計・温度計 (2.4.1)(b) ・ゴム長靴・雨カッパ・保護帽・懐中電灯 ・加入電話の付属電話機（請負者が本電話機を設置する場合） ・衣類ロッカー・冷暖房機器・消火器・湯沸器・掃除具
	７ 危険物貯蔵所	※塗料、油類等の引火性材料の貯蔵所は関係法令等に従い適切な規模、構造、設備を備えたものとする。尚、やむを得ず工事目的物の一部を置場として使用する場合には監督職員の承諾を受ける。(2.4.2)
	８ 請負者事務所	※設置する 請負者事務所の規模（単位：㎡）(2.4.1) ２０　㎡程度 (2.4.3)
	９ 材料倉庫	２０　㎡程度
	10 作業小屋	３０　㎡程度
	11 仮設便所	・男女別ユニットトイレ汲取式（２棟及び、児童用の手・足洗い場）
	⑫ 工事用水	構内既存の施設　⊙利用できる　○有償　・無償　※利用できない
	⑬ 工事用電力	構内既存の施設　⊙利用できる　○有償　・無償　※利用できない
	14 その他	・硬化型着色ヒル石吹付は、アスベスト含有調査（３検体採取）を実施し含有が認められる場合は、除去工事を行い結果を監督職員に報告すること。 ・便所、湯沸室、保健室等の石綿セメント板は、非飛散性ｱｽﾍﾞｽﾄ含有。(手壊しとする) ・ｱｽﾍﾞｽﾄ含有成型板等の撤去は「非飛散性ｱｽﾍﾞｽﾄ廃棄物の取扱いに関する技術指針」を厳守すること。
3 防水改修工事	１ ｱｽﾌｧﾙﾄ防水	(3.2.2)(表3.3.1～表3.4.2)

工　法	種　別	施　工　箇　所
・Ｐ１Ｂ	・Ｂ－１　・Ｂ－２	
・Ｐ１ＢＩ	・ＢＩ－１　・ＢＩ－２	
・Ｐ２Ａ	・Ａ－１　・Ａ－２	
・Ｐ２ＡＩ	・ＡＩ－１　・ＡＩ－２	
・Ｐ０Ｄ	・Ｄ－１　・Ｄ－２	
・Ｔ１ＢＩ	・ＢＩ－１　・ＢＩ－２	
・Ｐ０ＤＩ ・Ｍ３ＤＩ ・Ｍ４ＤＩ	・ＤＩ－１　・ＤＩ－２	
・Ｍ３Ｄ	・Ｄ－１　・Ｄ－２	
・Ｍ４Ｃ	・Ｃ－１　・Ｃ－２	
・Ｐ１Ｅ ・Ｐ２Ｅ	・Ｅ－１　・Ｅ－２	
・Ｍ４ＡＳ	・ＡＳ－１　・ＡＳ－２　・ＡＳ－３	・屋上
・Ｍ３ＡＳ ・Ｐ０ＡＳ	・ＡＳ－４　・ＡＳ－５　・ＡＳ－６	
	・ＡＳＩ－１・ＡＳＩ－２	

２　保護層等　断熱層工法の断熱材（Ｐ１ＢＩ、Ｐ２ＡＩ及びＴ１ＢＩ工法）(3.3.2)(h)
材　質　・発泡プラスチック保温材（ＪＩＳ　Ａ９５１１）
厚　さ（mm）　・２５（両面スキン層付き、特定フロンを含まないもの）
施工標識　・設ける　・設けない
脱気装置（Ｐ０Ｄ及びＭ３Ｄ）(3.3.3)(b)(2)
・設ける　・設けない

伸縮目地　・アスファルト注入目地 (3.3.5)(f)
・既存目地　寸法（mm）２５×７０
製造所（製品名）

３　合成高分子系ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ防水

工　法	種　別	施　工　箇　所
・Ｐ０Ｓ	・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)	
・Ｐ０ＳＩ	・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)	
・Ｓ４Ｓ	・S-M3(SI-M3)	
・Ｓ４ＳＩ		
・Ｓ３Ｓ	・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)	
・Ｓ３ＳＩ		
・Ｍ４Ｓ	・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)	
・Ｍ４ＳＩ	・S-M3(SI-M3)	

脱気装置　・設ける　・設けない

４　塗膜防水

工　法	種　別	施　工　箇　所
・Ｐ０Ｘ ・Ｌ４Ｘ		

脱気装置　・設ける　・設けない

５　既存塗膜防水層表面の仕上塗装　（Ｌ４Ｘ）　・行う　・行わない (3.2.6)(c)(6)

６　ｱﾙﾐﾆｳﾑ製笠木　部材の種類 (3.9.2)(c)(表3.9.1)
・押出２５０形　・押出３００形　・押出３５０形　・押出　形
・板材折曲げ型
（本体幅　mm、板厚　※２．０mm　・　mm、固定間隔　mm）
表面処理　※Ａ－１又はＢ－１　・ (3.9.2)(d)

７　ｼｰﾘﾝｸﾞ用材料

工　法	材　種	施　工　箇　所
・ＳＲ－１	ｼﾘｺｰﾝ系	
・ＳＲ－２	ｼﾘｺｰﾝ系	ガラス廻り
・ＭＳ－２	変成ｼﾘｺｰﾝ系	防水端部、建具周囲
・ＰＳ－２	ﾎﾟﾘｻﾙﾌｧｲﾄﾞ系	
・ＰＵ－２	ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系	
・ＡＣ－１	ｱｸﾘﾙ系	

ｼｰﾘﾝｸﾞ材の試験　※簡易接着性試験　・引張接着性試験 (3.7.8)
・行わない

PROJECT 上野運動公園 野球場スコアボード 整備工事			PROJECT NO.
DRAWING 改修工事 特記仕様書①			SCALE
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE
			DRAWING NO. A－ 1(6)

8 ｼｰﾘﾝｸﾞ改修 工法の種類

・シーリング充てん工法 (3.7.4)
・シーリング再充てん工法 (3.7.5)
・拡幅シーリング再充てん工法（拡幅幅　　mm、拡幅深さ　　mm） (3.7.6)
・ブリッジ工法 (3.7.7)

4 外壁改修工事

1 施工数量

※行う　・行わない
・調査範囲　※全面　・外壁（吹付タイル・タイル貼部分）
・調査項目　ひび割れ部（幅0.2mm、0.2mm～1.0 mm、1.0mm以上）
はがれ及びはく落部分
浮き部
・調査方法　目視及びミリスケール等
足場　・枠組　・ゴンドラ
・報告書　３部監督員に提出
（立面図等に記載、必要に応じて写真添付）
調査業者　材料メーカーの指定する施工業者とする

2 改修工法の種類 (4.1.4)

外壁	種類	改修工法
・ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し仕上げ　軒裏	・ひび割れ部	・樹脂注入工法 ※Ｕカットシール材充てん工法 ・シール工法
	・欠損部 ・その他	※充てん工法 ・ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し面改修工法（ﾆﾁｴ-吉田若返りｼｽﾃﾑ程度）
庇		
・ﾓﾙﾀﾙ塗り仕上げ　外壁	・ひび割れ部	・樹脂注入工法 ※Ｕカットシール材充てん工法 ・シール工法
	・欠損部	※充てん工法 ・モルタル塗替え工法
	・浮き部	・ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ部分ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法 ・ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法 ・ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄｽﾗﾘｰ注入工法 ※注入口付ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ部分ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法 ・注入口付ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法 ・注入口付ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄｽﾗﾘｰ注入工法 ・充てん工法 ・モルタル塗替え工法
・タイル貼り仕上げ外壁	・ひび割れ部	・樹脂注入工法 ※Ｕカットシール材充てん工法 ・シール工法
	・欠損部	※充てん工法 ・モルタル塗替え工法
	・浮き部	・ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ部分ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法 ・ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法 ・ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄｽﾗﾘｰ注入工法 ・注入口付ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ部分ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法 ・注入口付ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法 ・注入口付ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄｽﾗﾘｰ注入工法 ・注入口付ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞｴﾎﾟｷｼ樹脂注入タイル固定工法 ※タイル部分貼替え工法 ・タイル貼替え工法
	・目地	※目地ひび割れ部改修工法 ・伸縮目地改修工法
・塗り仕上げ	・吹替部	・薄付け仕上塗材塗り ・厚付け仕上塗材塗り ※複層仕上塗材塗り ・各種塗料塗り ・マスチック塗材塗り

3 改修工法等

樹脂注入工法 (4.3.4)(4.4.5)(4.5.5)
種類　・自動式低圧ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入　注入量（　　）注入孔間隔（　　）
・手動式ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入　注入量（　　）注入孔間隔（　　）
・機械式ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入　注入量（　　）注入孔間隔（　　）
検査　・行う　・行わない

Ｕカットシール材充てん工法 (4.3.5)
種類　・シーリング用材充てん（・ＰＵ－２　・　　）
・可とう性エポキシ樹脂充てん平滑仕上（巾10mm*深さ10mm以上）
（日本樹脂施工協同組合程度）
シーリング用材のうえにポリマーセメントモルタル充てん
・行う　・行わない

シール工法 (4.3.6)(4.4.7)
種類　・パテ状エポキシ樹脂シール
・可とう性エポキシ樹脂シール
充てん工法 (4.3.7)(4.4.8)
種類　・エポキシ樹脂モルタル充てん
（日本樹脂施工協同組合程度）
・ポリマーセメントモルタル充てん
モルタル塗替え工法 (4.4.9)

ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ部分ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法 (4.4.10)(図4.4.1)

	施工箇所
一般部分	
指定部分	
狭幅部	

ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法 (4.4.11)(図4.4.2)

	施工箇所
一般部分	
指定部分	
狭幅部	

ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄｽﾗﾘｰ注入工法 (4.4.12)(図4.4.2)

	施工箇所
一般部分	
指定部分	
狭幅部	

注入口付ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ部分ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法 (4.4.13)(図4.4.3)

	施工箇所
一般部分	範囲1.0m2以下の場合（@330*330）
指定部分	範囲1.0m2以下の場合（@250*250）
狭幅部	長さ1.0m、巾0.2mの場合（@200）

（ｺﾆﾝﾎﾟﾝﾄﾞCPｱﾝｶｰﾋﾟﾝ部分ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法程度）

注入口付ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法 (4.4.14)(図4.4.4)

	施工箇所
一般部分	
指定部分	
狭幅部	

注入口付ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄｽﾗﾘｰ注入工法 (4.4.15)(図4.4.4)

	施工箇所
一般部分	
指定部分	

タイル部分貼替え工法 (4.5.7)
種類　・ポリマーセメントモルタルによる貼替え
・ｴﾎﾟｷｼ樹脂による貼替え
貼付用モルタル及び目地材の既成調合材料
・使用する　・使用しない

タイル貼替え工法 (4.5.8)
種類 (表4.5.3)

タイルの種類	タイル寸法	工法	塗り厚(mm)
・外装タイル	・小口ﾀｲﾙ以上二丁掛け以下	・密着貼り	５～８
		・改良積上げ貼り	４～７
		・改良圧着貼り	下地側４～６ ﾀｲﾙ側３～４
・ユニットタイル	・25mm角を超え小口ﾀｲﾙ未満	・マスク貼り	３～４
	・25mm角以下	・ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ貼り	３～５

4 目地改修工法

目地ひび割れ改修工法 (4.5.16(a))

伸縮目地改修工法 (4.5.16(b))
目地　伸縮目地（位置　　寸法　　×　　）
検査　シーリング接着性試験　・行う（・簡易接着性試験）　・行わない

材料 (4.2.2)(a)
エポキシ樹脂　ＪＩＳ　Ａ６０２４（建築補修用注入エポキシ樹脂）
・低粘度形　・中粘度形
仮止めシール材等はエポキシ樹脂製造所の指定する製品で既存及び新規塗膜に支障のないもの
可とう性エポキシ樹脂
パテ状エポキシ樹脂
エポキシ樹脂モルタル
ポリマーセメントモルタル
ポリマーセメントスラリー
タイル貼替用エポキシ樹脂
磁器質タイル
せっ器質タイル

形状寸法	きじ	うわぐすり	色
	・磁器	・施釉	・標準色
	・せっ器	・無釉	・特注品

5 仕上塗材仕上げ

建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの発散量
※Ｆ☆☆☆☆　・Ｆ☆☆☆
(4.2.2（j）)(表4.2.4(その1)(その2))

種類	呼び名	仕上形状		工法
・薄付け仕上塗材 ＪＩＳ Ａ 6909 （建築用仕上塗材）	・外装薄塗材Si ・可とう形外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状		・吹付け
		・ゆず肌状 ・さざ波状		・ローラー
	・外装薄塗材Ｅ	・砂壁状 ・ゆず肌状		・吹付け
		・平たん状 ・凹凸状		・こて
		・ゆず肌状 ・さざ波状		・ローラー
		・着色骨材砂壁状		・吹付け ・こて
	・可とう形外装薄塗材Ｅ	・砂壁状 ・ゆず肌状		・吹付け
		・平たん状 ・凹凸状		・こて
		・ゆず肌状 ・さざ波状		・ローラー
	・防水形外装薄塗材Ｅ	・ゆず肌状 ・さざ波状		・ローラー
		・凹凸状		・吹付け
	・外装薄塗材Ｓ	・砂壁状		・吹付け
・厚付け仕上塗材 ＪＩＳ Ａ 6909 （建築用仕上塗材）	・外装厚塗材Ｃ	スタッコ状	・吹放し ・凸部処理	・吹付け
			・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起し ・掻き落とし	・こて
	・外装厚塗材Ｓi ・外装厚塗材Ｅ	スタッコ状	・吹放し ・凸部処理	・吹付け
			・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起し	・こて ・ローラー
・複層仕上塗材 ＪＩＳ Ａ 6909 （建築用仕上塗材）	・複層塗材ＣＥ ・可とう形複層塗材ＣＥ ・複層塗材Ｓi ・複層塗材Ｅ ・複層塗材ＲＥ ・複層塗材ＲＳ ・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材Ｅ ・防水形複層塗材RE	※ゆず肌状		※ローラー
		・凸部処理		・吹付け
		・凹凸模様		・吹付け

5 建具改修工事

1 改修工法 ・かぶせ工法（・カバー工法　・持出し工法　・ノンシール工法） (5.1.3)
・撤去工法　（※はつり工法　・引抜き工法）

2 見本の製作 ・製作する　・製作しない (5.1.5)

3 ブラインド ・再使用する　※再使用しない (5.1.6(c))
ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ等

4 ｱﾙﾐﾆｳﾑ製建具

既存塗膜等の除去及び下地処理 (4.6.3)

工法	処理範囲
※サンダー工法	
・高圧水洗工法	
・塗膜はく離剤工法	
・水洗い工法	

下地調整　（※下地調整塗材　・ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ　・防水形仕上塗材主材）

複層仕上塗材の上塗材の種類 (表4.2.4)

樹脂種類	溶媒種類	外観
・アクリル系	・溶剤系	・つやあり　・つやなし　・メタリック
	・弱溶剤系	・つやあり　・つやなし
	・水系	・つやあり　・つやなし
・シリカ系	・水系	・つやあり
・ポリウレタン系	・溶剤系	・つやあり　・つやなし　・メタリック
	・弱溶剤系	・つやあり　・つやなし
	・水系	※つやあり　・つやなし
・アクリルシリコン系	・溶剤系	・つやあり　・つやなし　・メタリック
	・水系	・つやあり　・つやなし
・ふっ素系	・溶剤系	・つやあり　・つやなし　・メタリック
	・水系	・つやあり　・つやなし

（注）つやなし及びメタリックは、可とう形複層塗材及び防水形複層塗材には適用しない。

5 網戸

防虫網の材質 (5.2.3(e))
※合成樹脂製　・ガラス繊維入り合成樹脂製　・ステンレス(SUS316)製
網目
・１６メッシュ　・１８メッシュ

6 鋼製建具

鋼製建具の性能等級 (5.3.2)(表5.3.1)

種類	気密性	水密製
・簡易気密型ドアセット	Ａ－３	Ｗ－１

種類	遮音性
・防音ドアセット	
・防音サッシ	

種類	断熱性
・断熱ドアセット	
・断熱サッシ	

種類	面内変形追随性
・耐震ドアセット	

アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理の種別 (表5.2.2)

種別	表面処理	規格番号	種類
・Ａ－１	無着色陽極酸化皮膜	JIS H8601	ＡＡ１５
・Ａ－２	着色陽極酸化皮膜		
※Ｂ－１	無着色陽極酸化塗装複合皮膜	JIS H8602	Ｂ
・Ｂ－２	着色陽極酸化塗装複合皮膜		
・Ｃ－１	無着色陽極酸化皮膜	JIS H8601	ＡＡ６
・Ｃ－２	着色陽極酸化皮膜		
・Ｄ	化成皮膜の上に塗装	JIS H4001	

PROJECT 上野運動公園 野球場スコアボード 整備工事
PROJECT NO.
DRAWING 改修工事 特記仕様書②
SCALE
APPROVED / CHECKED / DRAWN
DATE
DRAWING NO. A－2

7　鋼製軽量建具　(5.4.2)

種　類	気　密　性
・簡易気密型ドアセット	Ａ－３

種　類	遮音性
・防音ドアセット	
・防音サッシ	

種　類	断熱性
・断熱ドアセット	
・断熱サッシ	

種　類	面内変形追随性
・耐震ドアセット	

8　ｽﾃﾝﾚｽ製建具　(5.5.2)

種　類	気　密　性	水　密　製
・簡易気密型ドアセット	Ａ－３	Ｗ－１

種　類	遮音性
・防音ドアセット	
・防音サッシ	

種　類	断熱性
・断熱ドアセット	
・断熱サッシ	

種　類	面内変形追随性
・耐震ドアセット	

曲げ加工　・普通曲げ　・角出し曲げ　(5.5.5)

9　建具用金物　金物の見掛かり部等の材質　(5.6.2)
※改標仕表5.6.1(その1)(その2)による
マスターキー　※製作する　・製作しない　(5.6.4)

10　自動ドア開閉装置　開閉方法　(5.7.3)
・スライディングドア（・片引き　・引分け）
・スイングドア　（・片開き　・両開き）
スライディングドア用自動ドア開閉装置の性能値　(5.7.2)(b)(1)
※改共仕表5.7.1による　・（　　）
スイングドア用自動ドア開閉装置の性能値　(5.7.2)(b)(2)
※改標仕表5.7.2による　・（　　）
センサの種類　(5.7.3)(表5.7.3)
・マットスイッチ　・電子(電磁)ﾏｯﾄｽｲｯﾁ
・光線（反射）ｽｲｯﾁ　・音波スイッチ
・熱線スイッチ　・光電スイッチ　・タッチスイッチ
・ペダルスイッチ　・押しボタンスイッチ
凍結防止措置　・行う　・行わない　(5.7.3(f))

11　重量ｼｬｯﾀｰ　種類　(5.9.2)
・一般重量ｼｬｯﾀｰ　・外壁用防火ｼｬｯﾀｰ　・屋内用防火ｼｬｯﾀｰ　・防煙ｼｬｯﾀｰ
耐風圧強度
・５０　・８０　・１２０
開閉機能　(5.9.2)(表5.9.1)
・上部電動式（手動併用）　・上部手動式
シャッターケース
・設置する　・設置しない

12　軽量ｼｬｯﾀｰ　開閉形式　(5.10.2)(表5.10.1)
・上部電動式（手動併用）　・手動式
耐風圧強度
・５０　・６５　・８０
スラットの材質及び形状
・材質　（　　）
・インターロッキング形　・オーバーラッピング形

13　ｵｰﾊﾞｰﾍｯﾄﾞﾄﾞｱ　型式及び機構　(5.11.2)
セクション材料
・スチールタイプ　・アルミニウムタイプ　・ファイバーグラスタイプ
耐風圧強度
・５０　・７５　・１００　・１２５
開閉方式
・バランス式　・チェーン式　・電動式
収納形式
・スタンダード形　・ローヘッド形　・ハイリフト形　・バーチカル形
ガイドレール　(5.11.3)
・溶融亜鉛めっき鋼板　・ステンレス鋼板

14　ガラス　板ガラス　(5.12.2(a))

	厚　さ	備　　考
・フロート板ガラス	５㎜	
・型板ガラス	４㎜	
・網入り板ガラス	６.８㎜	※ひし網　・角網
・線入り板ガラス		
	材料板ガラスの種類及び厚さ等	
・合わせガラス		
・強化ガラス	５㎜（学校向け）	
・熱線吸収板ガラス		
・複層ガラス		
・熱線反射ガラス		反射皮膜　・内面　・外面
・倍強度ガラス		

15　ガラスとめ材　(5.12.2(b))

建具の種類		種　　類
アルミニウム製	・ガスケット	※グレイジングチャンネル形 （枠見込み70㎜の引違い、片引き障子の場合） ・
	※シーリング材	
鋼製	・シーリング材　・ガスケット	
ステンレス製	・シーリング材　・	

板ガラスをはめ込む溝の大きさ
※表5.12.1による（枠見込み７０㎜のｱﾙﾐﾆｳﾑ製建具の場合（強化、合わせ、倍強度ガラスを用いる場合を除く））

6 内装改修工事

1　一般事項　既存間仕切壁の撤去に伴う取り合い部分の改修範囲　(6.1.3(b))

改修部分	改　修　範　囲
・天井	図示による
・　壁	図示による
・　床	図示による

天井内の既存壁の撤去に伴う取り合い部の天井改修範囲　(6.1.3(c))
（図示による　　）
天井の撤去に伴う取り合い部の壁面改修　(6.1.3(f))
・行う（図示による　　）
・行わない

2　既存床撤去、下地補修　既存床仕上げ材の除去等　(6.2.2(a)(1))
浮き、欠損部等による下地モルタルの撤去
※行う　・行わない
合成樹脂塗り床材の除去等　(6.2.2(a)(2))
・機械的除去工法　・目荒工法
改修後の床の清掃範囲　(6.2.2(c))
※施工範囲及び施工によって汚れが生じた範囲　・（　　）

3　既存壁撤去、下地補修　既存間仕切壁の撤去に伴う他の構造体の補修工法　(6.3.2)
（　　）
表面仕上げ　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　(6.5.1(c))(表6.5.1)

4　木下地等　木材の含水率（工事現場搬入時、質量比）　(6.5.2(a)(1))(表6.5.2)

部材、下地材	種　　別
構造材、下地材	※Ａ種　・Ｂ種
造作材	※Ａ種　・Ｂ種

構造材及び下地材の等級　(6.5.2(a)(2)(ⅳ))

部材名称	等　級	部材名称	等　級	部材名称	等　級
土台	小節	野縁	小節		
頭繋ぎ	小節	間柱	小節		
間仕切	小節	半柱	上小（見掛り）		
胴縁	小節	柱	上小（見掛り）		

造作材の等級　(6.5.2(a)(2)(ⅴ))(表6.5.3)

使用箇所	部　材　名　称	等　　級
生地のまま又は透明塗料塗りの場合	枠、額縁、敷居、かも居、かまちの類	※Ａ種（ただし、見掛かり面） ・Ｂ種
	押入、戸棚等の内面造作の類	※Ａ種 ・Ｂ種
不透明塗料塗りの場合		※Ａ種 ・Ｂ種

代用樹種の使用　・禁止する　・禁止しない　(6.5.2(a)(3))
集成材　(6.5.2(b)(c))
ホルムアルデヒドの放散量
※Ｆ☆☆☆☆　・Ｆ☆☆☆

構造用集成材

部材名称	品　名	強度等級	材面の品質	樹種名	接着性能

造作用集成材

部材名称	等　級	単　材　の　樹　種	厚　さ

化粧ばり造作用集成材
表面仕上材の化粧単板の樹種（　　）　厚さ（　　）
ホルムアルデヒドの放散量
※Ｆ☆☆☆☆　・Ｆ☆☆☆
床張り用合板
厚さ5.5㎜合板の接着程度　（　　）
防腐処理　・施工する（　　）　・施工しない
防ぎ処理　・施工する　・施工しない

5　軽量鉄骨壁下地　スタッド、ランナーなどの種類　(6.7.3)(表6.7.1)
・４５形
※６５形
・９０形
・１００形

6　軽量鉄骨天井下地　野縁等の種類　(6.6.2)(表6.6.1)

部　材	種　　類	備　　考
・シングル野縁	・１９形　・２５形	※屋外２５形
・ダブル野縁	・１９形　・２５形	
・野縁受け	・１９形　・２５形	

既存埋込みインサート　(6.6.4(a)(1))
・使用する（引張試験）　※使用しない

7　ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ、ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ及びｺﾞﾑ床ﾀｲﾙ張り　材料　(6.8.2)
・ビニル床シート　【ＪＩＳ　Ａ５７０５（ビニル系床材）】　(6.8.2(a))
・防滑性ビニル床シート

種類の記号	機能・場所	厚　さ	備　　考
ＮＣ	廊下、階段室	2.5㎜	マーブル程度

・ビニル床タイル　【ＪＩＳ　Ａ５７０５（ビニル系床材）】　(6.8.2(b))

種　　類	厚　さ	備　　考

・帯電防止床シート　(6.8.2(c)(1))

種　　類	性　　能	厚　さ	備　考

・帯電防止床タイル　(6.8.2(c)(1))

種　　類	性　　能	厚　さ	備　考

・視覚障害者用床タイル　(6.8.2(c)(2))

種　　類	形　　状	備　考

・その他　(6.8.2(c)(3))

種　　類	性　　能	厚　さ	備　考

・ビニル幅木　(6.8.2(d))

厚　さ	高　さ	備　　考

・ゴム床タイル　(6.8.2(e))

色　　柄	厚　さ	備　　考

工法
下地　(6.8.3(a))
・モルタル下地　・木下地　・その他（　　）
ビニル床シート張り　(6.8.3(b))
熱溶接工法　・適用する　・適用しない

8　合成樹脂塗り床　ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの発散量
※Ｆ☆☆☆☆　・Ｆ☆☆☆
弾性ウレタン塗り床の仕上げ種類、行程　(6.10.2(b))(表6.10.3)
※平滑仕上げ　・防滑仕上げ　・つや消し仕上げ
エポキシ樹脂塗り床の仕上げ種類　(6.10.3(c))(表6.10.4～6.10.7)
・薄膜流し展べ仕上げ　・厚膜流し展べ仕上げ　・樹脂ﾓﾙﾀﾙ仕上げ　・防滑仕上げ

9　ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ張り　ホルムアルデヒドの発散量
※Ｆ☆☆☆☆　・Ｆ☆☆☆
・モルタル埋込み工法　(6.11.4)(表6.11.1)
フローリングブロック(単位:㎜)

樹　種	厚　さ	大きさ	備　　考
※なら	１５	303×303	辺材部分には、防虫処理を行う。
・			

・釘留め工法　(6.11.5)(表6.11.2)(表6.11.3)

材　　料	種　別	種　別	樹　種
・フローリングボード（根太張用）			※洋材
・複合フローリング　（根太張用）	・１種	・Ａ種	・
・無垢フローリング　（根太張用）	・２種	・Ｂ種	
	・３種	※Ｃ種	

・接着工法　(6.11.6)(表6.11.1)(表6.11.2)(表6.11.4)

材　　種	樹　種
・フローリングボード　（直張用）	※なら
・フローリングブロック（直張用）	・
・複合１種フローリング（直張用）	
・複合２種フローリング（直張用）	
・複合３種フローリング（直張用）	

材　　種	樹　種	厚　さ	大きさ
・モザイクパーケット　（直張用）	・	・	・

塗装　(6.11.7(b))
・ウレタン樹脂ワニス塗り（１液形、Ｂ種）
※水性ウレタンクリヤー（床用）塗のうえワックス塗り
(ﾛｯｸﾍﾟｲﾝﾄ水性ﾌｰﾙﾊｰﾄ程度)
・生地のままワックス塗り

10　畳敷き　種別　※Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　(6.12.2)(表6.12.1)

PROJECT	上野運動公園 野球場スコアボード 整備工事		PROJECT NO.
DRAWING	改修工事 特記仕様書③		SCALE
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE
			DRAWING NO. A－3

11 カーペット

敷き 織じゅうたん (6.9.2)(6.9.3)(表6.9.1)

種 別	パイル形状	帯電性	品質の程度
・A種 ・B種 ・C種	・カットパイル ・ループパイル ・カット、ループ併用	※人体耐電圧 ３ＫＶ以下 ・	

品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。

タフテッドカーペット (6.9.2)(6.9.3)(表6.9.2)

パイル形状・カット	パイル長さ(mm)	帯電性	工 法	品質の程度
・カットパイル ・ループパイル ・ﾚﾍﾞﾙﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ、ﾙｰﾌﾟ併用	・	※人体耐電圧 ３ＫＶ以下 ・	※全面接着工法 ・ｸﾞﾘｯﾊﾟｰ工法	・

品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。

ニードルパンチカーペット (6.9.2)(d)(2)

厚さ(mm)	帯 電 性	備 考
・	※人体耐電圧３ＫＶ以下 ・	

タイルカーペット (6.9.2)(表6.9.2)

パイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	電気抵抗(Ω)	品質の程度
・カットパイル ※ループパイル	※500×500	※６．５ ・	・適用しない ・	・

品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。

敷き方 (6.9.3)(d)(2)

平 場	※市松敷き ・模様流し ・
階段部分	・市松敷き ※模様流し ・

12 せっこうﾎﾞｰﾄﾞ、その他ﾎﾞｰﾄﾞ及び合板張り

(6.13.2)(表6.13.1)

名称	種 類	規格、区分等	厚 さ (mm)	
せっこうボード製品	・せっこうﾎﾞｰﾄﾞ(GB-R)		壁	・９．５(準不燃) ※１２．５(不燃) ・１５．０(不燃)
			天井	※９．５(準不燃) ・１２．５(不燃) ・１５．０(不燃)
	・シージングせっこうﾎﾞｰﾄﾞ(GB-S)			・１２．５(不燃) ※１２．５(準不燃)
	・強化せっこうﾎﾞｰﾄﾞ(GB-F)			・１２．５(不燃)
	・せっこうﾗｽﾎﾞｰﾄﾞ(GB-L)			※９．５
	・不燃積層せっこうﾎﾞｰﾄﾞ(GB-NC)	模様なし		※９．５(不燃)
		トラバーチン		※９．５(不燃)
	・化粧せっこうﾎﾞｰﾄﾞ(GB-D)	普通 ・トラバーチン		※９．５(不燃)
		普通 ・木目模様		※9.5(準不燃) ・12.5(不燃)
吸音材料	・ﾛｯｸｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ(RW-B)	１ 号		・２５
	・ｸﾞﾗｽｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ(GW-B)	２号 ３２Ｋ		・２５ガラスクロス包
	・ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音(DW)	内部用 普通		・9.0(不燃) ・12.0
		内部用 立体模様		・12.0(不燃) ・
		軒天用 普通		・9.0(不燃) ・
		軒天用 立体模様		・12.0(不燃) ・
繊維強化セメント	・0.8けい酸ｶﾙｼｳﾑ板(0.8KF)			※６．０ ・
合板	特殊合板 ・天然木化粧合板	・なら ・しおじ ・		化粧単板 ※0.3未満 ・ 板 ※4.2 ・
	特殊合板 ・特殊加工化粧合板	※ﾒﾗﾐﾝ化粧合板 ・ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ化粧合板 ・		※３．０ ・
	難燃合板 ・ シナベニヤ直仕上（塗装他）	※１類（水遇り） ※２類（一般部）		※５．５ ・９．０（体育館） ・有孔（寒冷紗裏貼品）
	難燃合板 ・ ラワンベニヤ	※１類（水遇り） ※２類（一般部）		※５．５ ・１２．０ ・
・パーティクルボード				
・				

合板類、ＭＤＦ及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの発散量

※Ｆ☆☆☆☆ ・Ｆ☆☆☆

遮音シール材 (6.13.2)(h)

・適用する（・アクリル系シーリング材 ・ジョイントコンパウンド） ・適用しない

13 壁紙張り

ホルムアルデヒドの発散量 ※Ｆ☆☆☆☆ ・Ｆ☆☆☆

(6.14.2)

施 工 箇 所	品 質 の 程 度	防 火 種 別
		※1-1 ・1-2 ・5-1
		・1-1 ※1-2 ・5-1
		・1-1 ・1-2 ※5-1

品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。

14 ﾓﾙﾀﾙ塗り

既成目地材 (6.15.3)

・使用する（形状 ）

15 タイル貼

伸縮調整目地 (6.16.2)

位置 ・図示

タイルの種類 (6.16.3)

施工箇所	形状・寸法(mm)	き じ 磁器	き じ ｽﾀﾌｧﾗｲﾄ黒地質	き じ 陶器	うわぐすり 施釉	うわぐすり 無釉	役物 あり	役物 なし	色 標準	色 特注	品質の程 度
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	

品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。

試験張り、見本焼き等 (6.16.3)(a)(3)

試験張り ・行う ※行わない

見本焼き ・行う ※行わない

工法 (6.16.1)(表6.16.6)(表6.16.7)

・積上げ張り

・壁タイル接着剤張り

16 断熱材

ロックウール、グラスウール、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒドの発散量

※Ｆ☆☆☆☆ ・Ｆ☆☆☆

断熱材打込み工法 (9.5.2)

種 類	種 別	厚さ(mm)	施工箇所
・ﾋﾞｰｽﾞ法ﾎﾞﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ	・	・	
・押出法ﾎﾞﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ	・保温板２種ｂ	・２５ ・	
	・保温板３種ｂ	・２５ ・	
	・	・	
・硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ	・	・	
・ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ			

上記保温材は、特定フロンを含まないものとする。

断熱材現場発泡工法 (9.5.3)

難燃性	厚さ(mm)	施 工 箇 所
・２級 ・３級 ・	・２５ ・	※窓回り等の断熱材補修部分、ルーフドレン回りの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所 ・

上記保温材は、特定フロンを含まないものとする。

17 接着剤

壁紙施工用でん粉系接着剤、ﾕﾘｱ樹脂等を用いた接着剤のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞの発散量

※Ｆ☆☆☆☆ ・Ｆ☆☆☆

7 塗装改修工事

① 材料

建物内部に使用するﾕﾘｱ樹脂等を用いた塗料のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞの発散量

※Ｆ☆☆☆☆ ・Ｆ☆☆☆ (7.1.3)(ａ)

※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする (7.1.3)(b)

・次の箇所を除き防火材料とする。（ 箇所 ）

② 下地調整

種別 (7.2.2～7.2.7)(表7.2.1～7.2.7)

下 地	種 別
・木部	・ＲＡ種 ※ＲＢ種 ・ＲＣ種
・鉄鋼面	・ＲＡ種 ※ＲＢ種 ・ＲＣ種
・亜鉛めっき面	・ＲＡ種 ※ＲＢ種 ・ＲＣ種
・モルタル面、プラスター面	・ＲＡ種 ※ＲＢ種 ・ＲＣ種
・コンクリート、ＡＬＣパネル面	・ＲＡ種 ※ＲＢ種 ・ＲＣ種
・コンクリート、押出成形セメント板面	・ＲＡ種 ※ＲＢ種 ・ＲＣ種
・せっこうボード、その他ボード面	・ＲＡ種 ※ＲＢ種 ・ＲＣ種

※水性シーラー ・変性エポキシ樹脂プライマー

③ 錆止め塗料塗り

塗料種別 (7.3.2)(表7.3.1)

鉄鋼面錆止め塗料 ※Ａ種（屋外、屋内） ・Ｂ種（屋内） ・Ｃ種（屋内）
JIS K 5625 JIS K 5621 JPMS-21

錆止め塗料塗り種別 (7.3.3)(表7.3.3～7.3.4)

鉄鋼面 ・Ａ種 ・Ｂ種 ※Ｃ種

亜鉛めっき面 ・Ａ種 ・Ｂ種 ※Ｃ種

4 合成樹脂調合ペイント塗り（ＳＯＰ）

塗料種別 ※１種 ・ (7.4.2)

種別 (7.4.3～7.4.5)(表7.4.1～7.4.3)

・下 地	種 別
・木部	・Ａ種 ※Ｂ種 ・Ｃ種
・鋼鉄面	・Ａ種 ※Ｂ種 ・Ｃ種
・亜鉛めっき面	・Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種

5 フタル酸樹脂エナメル塗り（ＦＥ）

種別 (7.5.2～7.5.3)(表7.5.1～7.5.2)

・下 地	種 別
・木部	・Ａ種 ※Ｂ種 ・Ｃ種
・鉄鋼面及び亜鉛めっき面	・Ａ種 ※Ｂ種 ・Ｃ種

6 アクリル樹脂系非水分散形塗料

種別 ・Ａ種 ※Ｂ種 (7.6.2)(表7.6.1)

7 アクリル樹脂エナメル塗り（ＡＥ）

下地調整 ・ＲＡ種 ・ＲＢ種 ・ＲＣ種 (7.7.2)(表7.7.1)

種別 ・Ａ種 ※Ｂ種 ・Ｃ種 (7.7.3)(表7.7.1)

8 ２液形ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝエナメル塗り（２－ＵＥ）

種別 (7.8.2～7.8.4)(表7.8.1～7.8.3)

鉄鋼面	※Ａ種 ・Ｂ種
亜鉛めっき面	※Ａ種 ・Ｂ種
ｺﾝｸﾘｰﾄ及び押出成形ｾﾒﾝﾄ板面	・Ａ種 ・Ｂ種

9 ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂エナメル塗り（２－ＡＳＥ）

種別 (7.9.2～7.9.4)(表7.9.1～7.9.3)

鉄鋼面	・Ａ種 ・Ｂ種
亜鉛めっき面	・Ａ種 ・Ｂ種
ｺﾝｸﾘｰﾄ及び押出成形ｾﾒﾝﾄ板面	・Ａ種 ・Ｂ種

10 常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗り（２－ＦＵＥ）

種別 (7.10.2～7.10.4)(表7.10.1～7.10.3)

鉄鋼面	・Ａ種 ・Ｂ種
亜鉛めっき面	・Ａ種 ・Ｂ種
ｺﾝｸﾘｰﾄ及び押出成形ｾﾒﾝﾄ板面	・Ａ種 ・Ｂ種

11 つや有合成樹脂ｴﾏﾙｼﾞｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り（ＥＰ－Ｇ）

種別 ・Ａ種 ※Ｂ種 ・Ｃ種 (7.11.2)(表7.11.1)

しみ止め ※下塗りに先立ち水性シーラー処理を行う

（ 屋内 鉄部 程度 木部 程度 ）

12 合成樹脂ｴﾏﾙｼﾞｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り（ＥＰ）

種別 ・Ａ種 ※Ｂ種 ・Ｃ種 (7.12.2)(表7.12.1)

しみ止め ※下塗りに先立ち水性シーラー処理を行う

（ 屋内 ＲＣ、モルタル、ボード面等 程度 ）

13 多彩模様塗料塗り（ＥＰ－Ｍ）

種別 (7.13.3)(表7.13.1)(表7.13.3)

コンクリート、モルタル、プラスター、せっこうボード、木部

鉄鋼面及び亜鉛めっき面 ・Ａ種 ※Ｂ種

14 合成樹脂ｴﾏﾙｼﾞｮﾝ模様塗料塗り（ＥＰ－Ｔ）

種別 (7.14.2)(表7.14.1)

・Ａ種 ※Ｂ種 ・Ｃ－１種 ・Ｃ－２種 ・Ｃ－３種

15 ウレタン樹脂ワニス塗り（ＵＣ）

種別 (7.15.2)(表7.15.1)

木部 ・Ａ種 ※Ｂ種 ・既設床面ｻﾝﾀﾞｰ掛けのうえ、3回塗り

※無黄変型水性1液ｳﾚﾀﾝ樹脂塗料（屋内床 程度）

16 ｸﾘｱﾗｯｶｰ塗り（ＣＬ）

種別 (7.16.2)(表7.16.1)

木部 ・Ａ種 ※Ｂ種

17 ｵｲﾙｽﾃｲﾝ塗り（ＯＳ）

種別 (7.17.2)(表7.17.1)

木部

18 屋内水系塗料

種別（既存塗膜がＳＯＰ、ＶＰ塗等をＥＰ－Ｇ塗に塗替える場合） (7.18.2)

木 部 ・Ａ種 ※Ｂ種 ・Ｃ種 (表7.18.1)

鉄鋼面 ・Ａ種 ※Ｂ種 ・Ｃ種 (表7.18.2)

その他 ※ＲＣ、モルタル、石膏ボード面下地等の塗替え及び新規

（ ※11節 ※12節 ・14節 ）を適用とする

19 水性ｽﾃｲﾝ・水性ｳﾚﾀﾝｸﾘﾔｰ塗り（ＳＵＣ）

種別

木部 汚れ・付着物除去のうえ、水性ｽﾃｲﾝ１回、水性ｳﾚﾀﾝｸﾘﾔｰ3回塗り

※顔料系木部着色材 （屋内外 程度）

※無黄変型水性1液ｳﾚﾀﾝ樹脂塗料（屋内外 程度）

20 打放し保護材

・塗布 ２回（ 程度）

8 雑工事

PROJECT	上野運動公園 野球場スコアボード 整備工事
PROJECT NO.	
DRAWING	改修工事 特記仕様書④
SCALE	
APPROVED / CHECKED / DRAWN	
DATE	
DRAWING NO.	A－4

N
E
S
W

▼ 工事車輌進入ゲート

※工事車輌駐車場
（現場事務所、資材倉庫設置）

工事車輌
進入ゲート

野 球 場

資材荷卸し、揚重機設置スペース

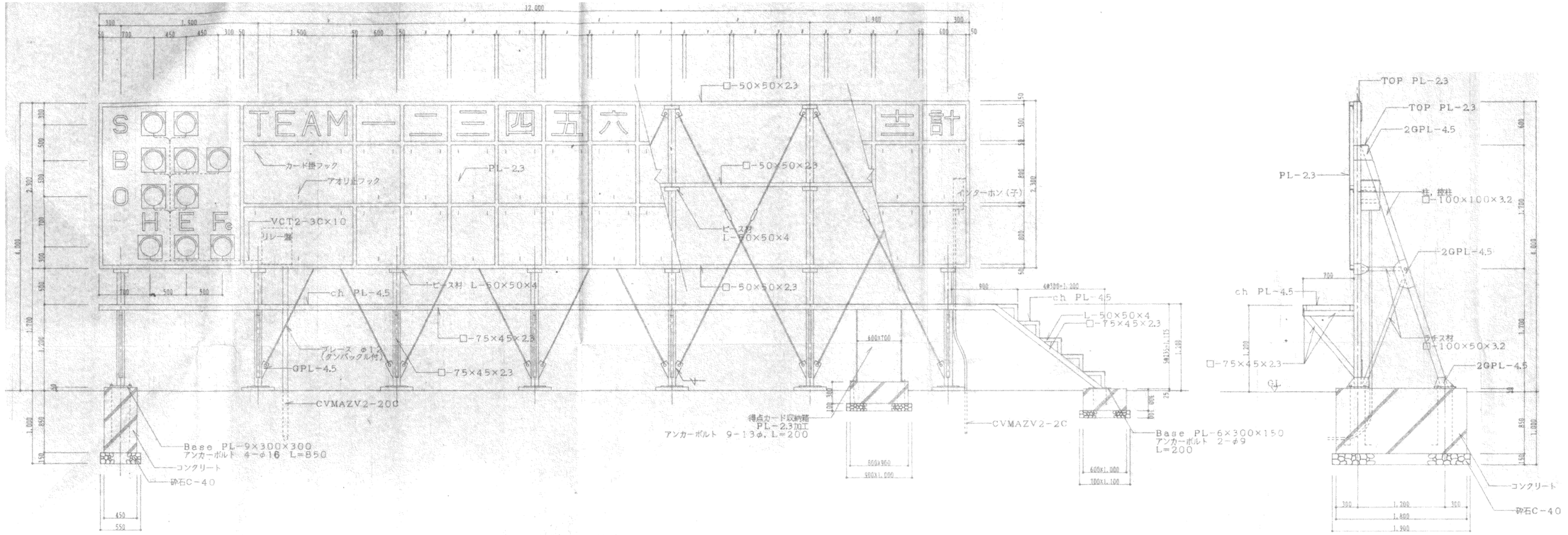
A型バリケード

既設スコアボード設置場所
※既設解体・撤去ー新設スコボード設置

外部足場：枠組本足場 W600・L30.0×H4.0
※既設解体時、新設架台・ユニット設置時

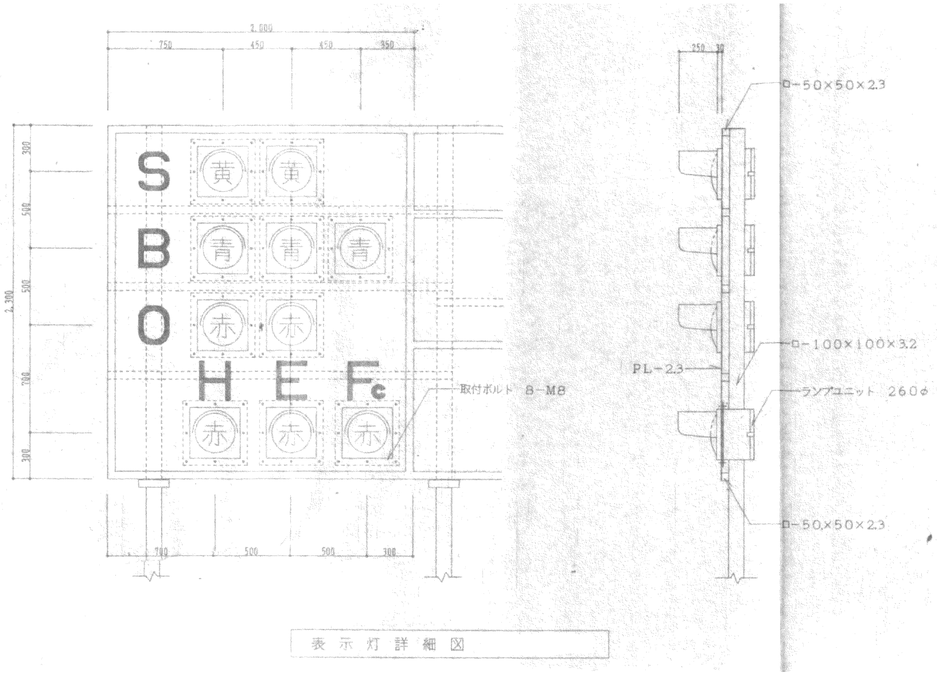
A型バリケード

PROJECT 上野運動公園 野球場スコアボード 整備工事				PROJECT NO.
DRAWING 仮設計画図				SCALE 1:600
APPROVED	CHECKED	DRAWN		DATE
				DRAWING NO. A−5



スコアーボード立面図

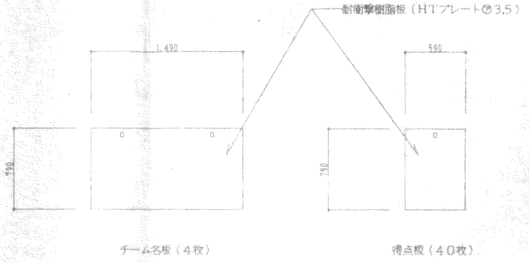
鉄骨見え掛り部分は全て亜鉛メッキ処理の上
プライマー処理、塩化ゴム塗料2回塗とする。



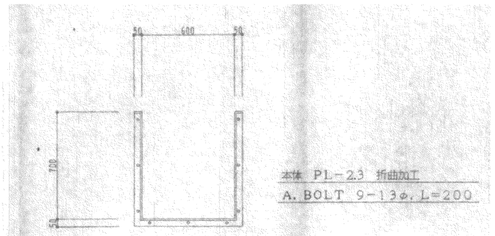
表示灯詳細図

得点板枚数表

点数	枚数	備考
0	26	0の裏に記入
1	(10)	〃
2	(8)	〃
3	(6)	
4	4	
5	(2)	0の裏に記入
6	2	
7	2	
8	2	
9	1	
10	1	
11	1	
12	1	
合計	40枚	(64枚)



表示板詳細図



得点カード収納箱詳細図

PROJECT: 上野運動公園野球場 スコアボード 整備工事			PROJECT NO.
DRAWING: 電気設備 既設スコアボード参考図(撤去)			SCALE
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE
			DRAWING NO. A−6(E)

鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１） 2014 年度版

§１ 一般事項

1－1 基本事項

1．使用材料、工法等は構造特記仕様書による。
2．設計図書に記載なき場合は本標準図に従うものとする。
　また本標準図に明記なき場合は構造特記仕様書１－２－４に指定した共通仕様書及び日本建築学会「ＪＡＳＳ５（２００９）」及び「鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説」による。
3．本標準図は異形鉄筋を対象とし、ｄは呼び名に用いた数値とする。
4．本標準図に示す単位は特記なき限りすべてｍｍとする。

1－2 その他

§２ 共通事項

2－1 鉄筋の表示記号

鉄筋の表示記号及び最外径は下表による。

記号	•	×	⌀	●	○	⊙	⊠	⊙	⊕	◆	⊠
呼び径ｄ	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41
最外径Ｄ	11	14	18	21	25	28	33	36	40	43	46

フックのない場合
フックのある場合
本数に差がある場合　（多い／少ない）
機械式継手表示
溶接継手表示
（ガス圧接，突き合せ溶接）

2－2 鉄筋の折り曲げ

柱・梁・基礎の主筋、及び、その他の鉄筋の折曲げ形状・寸法

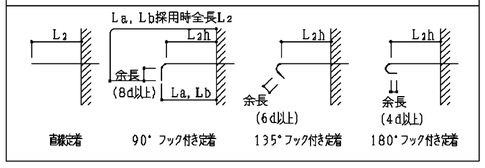
折曲げ角度	図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内法直径（D）
180	余長 4d以上	柱・梁主筋 基礎主筋 帯筋 あばら筋 スパイラル筋 スラブ筋 壁筋	SD295	D16以下	3d以上
			SD345	D19～D41	4d以上
135	余長 6d以上		SD390	D41以下	5d以上
90	余長 8d以上		SD490	D25以下	5d以上
				D29～D41	6d以上

2－3 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

「JASS5（2009）」に準拠

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度（N/mm²）	重ね継手の長さ 上段 直線 L_1 下段 フック付き L_{2h}	定着の長さ 一般 上段 直線 L_2 下段 フック付き L_{2h}, L_a	定着の長さ 小梁・床スラブ 上端筋 フック付きLb	定着の長さ 小梁・床スラブ 下端筋 L_3, L_{3h}
SD295 (SD345) ( )はSD345を示す	18	45d(50d) 35d	40d 30d ，20d	15d (20d)	L_3=20d L_{3h}=10d 床スラブの場合 L_3=10d かつ 150 以上 SD490は適用外
	21	40d(45d) 30d	35d 25d ，15(20)d		
	24～27	35d(40d) 25d(30d)	30d(35d) 20d(25d)，15(20)d	15d	
	30～36	35d 25d	30d 20d ，15d		
	39～45	30d(35d) 20d(25d)	25d(30d) 15d(20d)，15d		
	48～60	30d 20d	25d 15d ，15d		
SD390 (SD490) (-)は適用外	21	50d(－) 35d(－)	40d(－) 30d(－)，20d(－)	20d (－)	
	24～27	45d(55d) 35d(45d)	40d(45d) 30d(35d)，20(25)d		
	30～36	40d(50d) 30d(35d)	35d(40d) 25d(30d)，20(25)d	15d (－)	
	39～45	40d(45d) 30d(35d)	35d(40d) 25d(30d)，15(20)d		
	48～60	35d(40d) 25d(30d)	30d(35d) 20d(25d)，15(20)d		

一般定着の直線 L_2 またはフック付きの L_{2h}, L_a, L_b の図

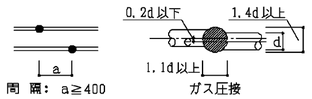


1．重ね継手の長さは鉄筋の折曲げ起点間の距離、又、フック付きのL_{2h}は仕口面から鉄筋の折曲げ起点までとし、末端のフックは定着長さに含まない。
2．軽量コンクリートを使用する場合は、２－３の数値に５ｄを加算する。

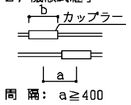
2－4 継手一般

3．構造特記仕様書２－２で政令第７３条とした場合、主筋等の継手重ね長さと柱に取り付く梁の定着長さは上表L1 L2 かつ４０ｄ（軽量コンクリートを使用する場合は５０ｄ）とする。
4．構造特記仕様書２－２でＪＡＳＳ５（２００９）、ＲＣ規準２０１０とした場合、主筋等の継手重ね長さと柱に取り付く梁の定着長さは設計者の指示による。参考値として上表ＪＡＳＳ５（２００９）にL1 L2 を示す。

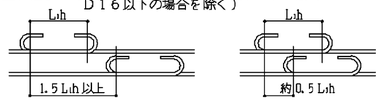
1．溶接継手



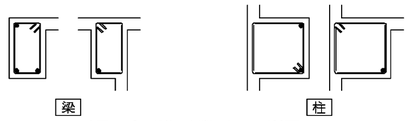
2，機械式継手



3．重ね継手　（下記のいずれかとする。壁、スラブ筋でＤ１６以下の場合を除く）



4．D35以上の鉄筋は原則として重ね継手は用いない。
　（溶接、機械式継手等による）
5．溶接継手を行う場合は原則として同一鋼種とし、鉄筋径の差はガス圧接の場合は２サイズ、突き合せ溶接の場合は１サイズまでとする。
6．突合せ溶接継手及び機械式継手の場合はメーカー仕様による。
　下記の１．～７．に示す鉄筋の末端部にはフックをつける。
1．あばら筋及び帯筋　　2．煙突の鉄筋
3．柱及び梁（基礎梁を除く）の出隅部分の鉄筋（下図参照）



上図の●印の鉄筋の末端にはフックが必要。

4．片持ちスラブの上端筋の先端
5．最上階及びこれに準ずる箇所の柱頭の四隅の鉄筋
6．杭基礎の基礎筋（偏心基礎及び杭２本打以上の場合）
7．鉄骨柱の脚部の基礎柱、又は根巻コンクリートの四隅の鉄筋

2－5 鉄筋のフック

2－6 鉄筋のあき

鉄筋のあきａは原則として下記による。
　呼び名の数値ｄの 1，5 倍以上
　粗骨材の最大寸法の 1．25 倍以上　｝かつ25以上

※Ｄは最外径を示す

鉄筋径が異なる場合は大きい方による。
二段筋のあきは 1．5d とする。

2－7 かぶり厚さ

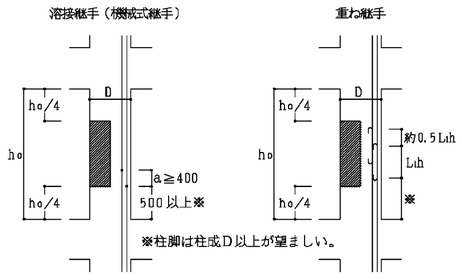
鉄筋に対するコンクリートの設計かぶり厚さと最小かぶり厚さ

部位			かぶり厚さ 仕上げあり	かぶり厚さ 仕上げなし
土に接しない部分	屋根スラブ 床スラブ 非耐力壁	屋内	30(20)	30(20)
		屋外	30(20)	40(30)
	柱 梁 耐力壁	屋内	40(30)	40(30)
		屋外	40(30)	50(40)
	擁壁		※1 ※1 50 (40)	※1 ※1 50 (40)
土に接する部分	柱・梁・床スラブ・壁 布基礎の立上り		※2 ※2 50 (40)	
	基礎・擁壁		※2 ※2 70 (60)	

1．( ) 内の数値は最小かぶり厚さを示す。
2．仕上げあり　とは、鉄筋の耐久性上有効な仕上げのある場合とする。
3．※1　品質・施工法に応じ、工事監理者の承認で１０減の値とすることができる。
4．※2　軽量コンクリートの場合は、これに１０加算する。
5．柱・梁の主筋のかぶり厚さは主筋径の1．5倍以上とする。

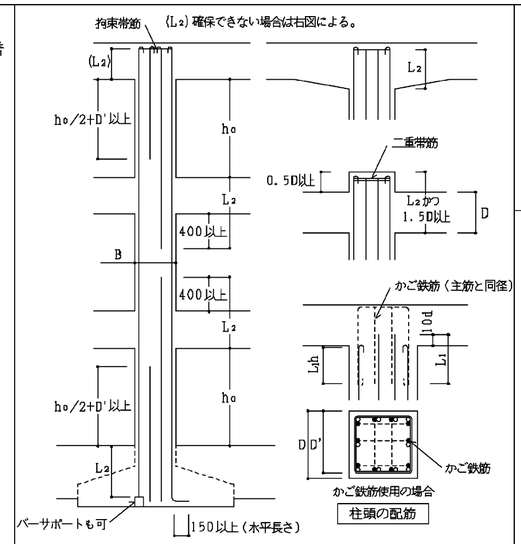
§３ 柱

3－1 主筋の継手

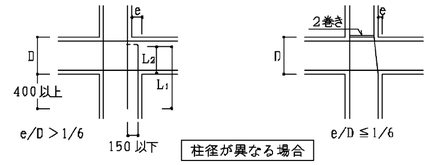


○ ▨ 印内に継手中心部を設けることを原則とする。

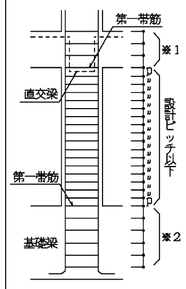
3－2 主筋の定着



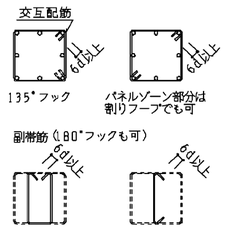
※ 余長 D' は柱有効成とし、構造計算によって確認すれば、それによってもよい。



3－3 帯筋 副帯筋

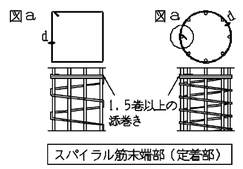


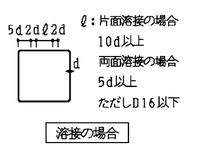
○ 第一帯筋（D13以上使用の事）は梁面に入れ、その間を設計ピッチ以下に割り付ける。
○ 帯筋の加工は下図による。

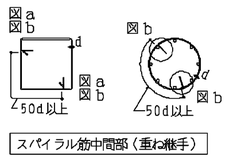


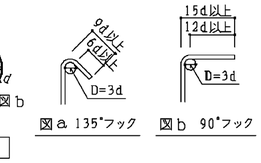
パネルゾーンの帯筋は設計図によるが、明記なき場合は下記による。ただし、帯筋量（pw）は0．2%以上とする。
※1．設計ピッチの1．5倍以下とする。⊟ 形以上の場合は同径同材質で □ 形@100以下とする。
※2．基礎梁部分は、同径で □ 形@150以下とする。

スパイラル筋の末端処理及び継手は下記のとおりとする。
1．末端は1．5巻以上の添巻きをし、図aのフックをつける。
2．重ね継手は重ね長さ50d以上とし、図a又は図bのフックをつける。

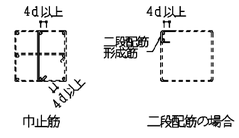








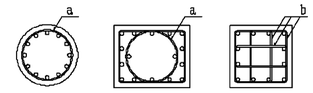
3－4 補助筋



○ 補助筋はD10をピッチ600以内に割り付ける。

3－5 柱のコンファインド補強

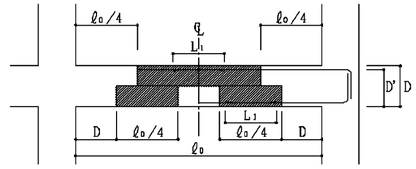
補強する柱は設計図による。（柱頭、柱脚柱成の範囲を補強する。）



a スパイラル帯筋 ø60～75（有効間隔50程度）
b 溶接閉鎖型帯筋 ø60～75（有効間隔50程度）

§４ 梁

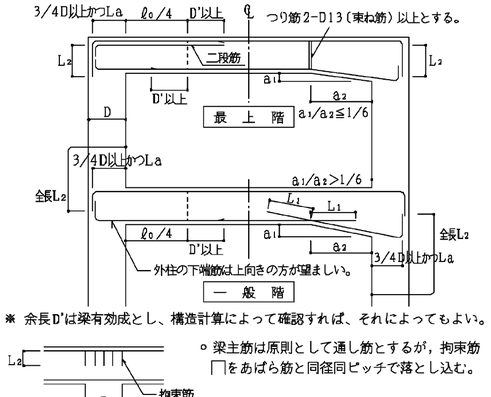
4－1 主筋の継手



○ ▨ 印内に継手中心部を設けることを原則とする。ただし溶接継手の場合は、柱面より500以上はなすこと。
○ 定着形状を下記以外とする場合は設計図書による。

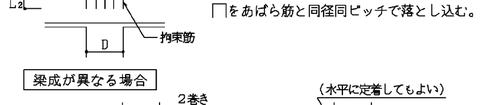
4－2 主筋の定着及び余長

外柱



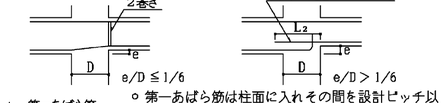
※ 余長D'は梁有効成とし、構造計算によって確認すれば、それによってもよい。

中柱

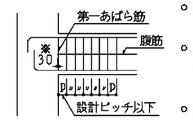


○ 梁主筋は原則として通し筋とするが、拘束筋 □をあばら筋と同径同ピッチで落し込む。

梁成が異なる場合

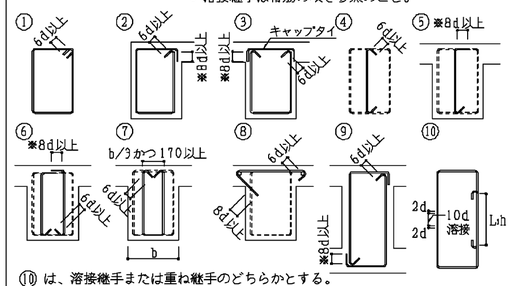


4－3 あばら筋 副あばら筋



○ 第一あばら筋は柱面に入れその間を設計ピッチ以下に割り付ける。
○ あばら筋の加工は下図①による。②③⑤⑥⑧⑨は同時打込みのスラブ付の場合に限る。
○ ⑨⑩は梁成の大きい場合。
○ ⑧はピッチ 2p で交互配置とする。
○ 135°フックは180°フックでも可とする。
○ 溶接継手は帯筋の項を参照のこと。

※ ねじれ応力を受ける腹筋は定着長さL2とする。



⑩ は、溶接継手または重ね継手のどちらかとする。
※ 柱面より梁成の範囲は、180°フック又は135°フックが望ましい。

PROJECT			PROJECT NO.
上野運動公園野球場スコアボード整備工事			
DRAWING 鉄筋コンクリート構造 配筋標準図①			SCALE
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE
			DRAWING NO. S－1(9)

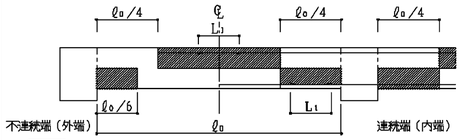
鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２） 2014 年度版

4－4 補助筋

腹筋	D< 600 不要
	600≦D< 900 2-D10（1段）
	900≦D<1200 4-D10（2段）
	1200≦D D10 @300以内
巾止筋	D10 @1000 以内で割り付ける。
受筋 つり筋	D10 @1000 以内で割り付ける。

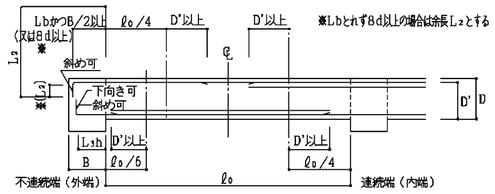
4－5 小梁及び片持梁

a)小梁継手



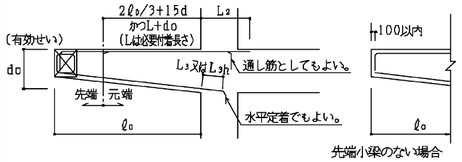
▨印内に継手中心部を設けること。ただし溶接継手の場合は梁面より500以上はなすこと。

定着



b)片持梁定着継手

下端筋は水平定着でも可。上端筋には継手を設けてはならない。

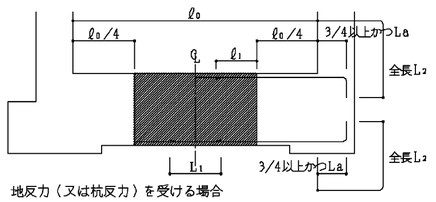


4－6 基礎梁及び基礎小梁

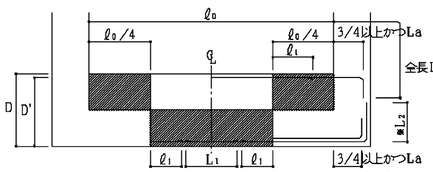
※ 地反力を受ける梁は構造特記仕様書５－４項および設計図に示す。
余長は $\ell_1 \{\ell_1 \geqq \min(D', L_2)\}$ とする。
余長ℓ_1は構造計算によって確認すれば、それによってもよい。

a)基礎梁の継手及び定着

1 一般（独立基礎、杭打独立基礎）



2 地反力（又は杭反力）を受ける場合

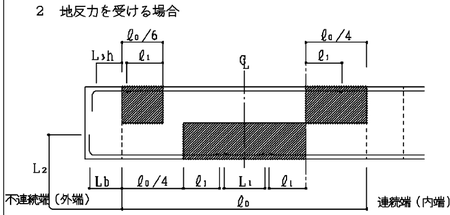


※ 設計者の判断による。

b)基礎小梁の継手及び定着

1 地反力を受けない場合は(4-5)による。

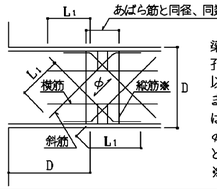
2 地反力を受ける場合



○ ▨ 印内に継手中心部を設けることを原則とする。ただし溶接継手の場合は柱面（基礎小梁の場合は梁面）より500以上はなすこと。Lbとれない場合４－５ａ定着によってよい。

4－7 梁の貫通補強

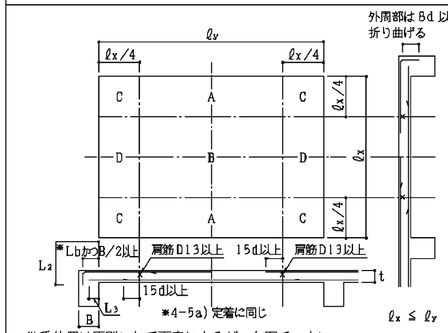
1．補強筋は原則として工場製品（認定品）を使用する。
2．認定品を使用しない場合は下図によるが、補強筋は設計者の指示による。



梁貫通孔は梁成の1/3以下とする。
孔が複数の場合は中心間隔を径(φ)の 3倍以上とする。
また位置は原則として柱面から梁成 D以上はなし、梁成の中央 D/2の範囲内とする。
φが100かつ D/10 以下のとき、補強を必要としないが、あばら筋を切断してはならない。
※縦筋はあばら筋加工とする。

§5 スラブ

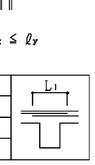
5－1 鉄筋の折り曲げ及び定着



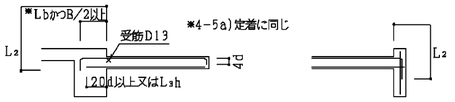
5－2 継手

継手位置は原則として下表によるが、右図でもよい。

		標準継手位置
上端筋	短辺方向	B D
	長辺方向	A B
下端筋	短辺・長辺方向	A C D



5－3 片持ちスラブ

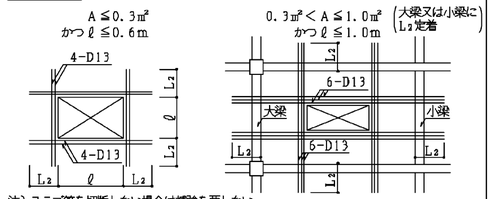


片持ちスラブ隅角部補強は設計図による。

先端に荷重がある場合

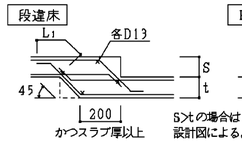
5－4 補強筋

開口補強　A：開口面積

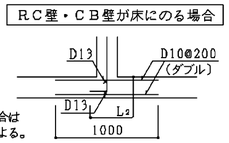


注）スラブ筋を切断しない場合は補強を要しない。

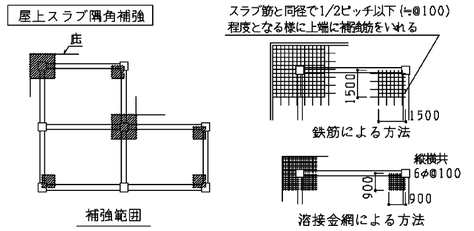
段違床



R.C壁・CB壁が床にのる場合

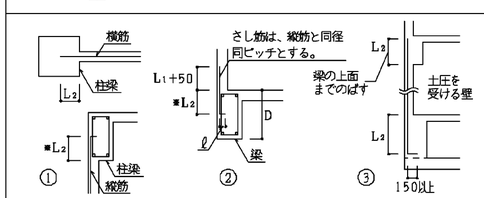


屋上スラブ隅角補強



§6 壁

6－1 定着及び継手

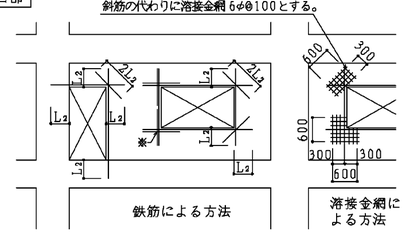


6－2 壁配筋

6－3 補強筋

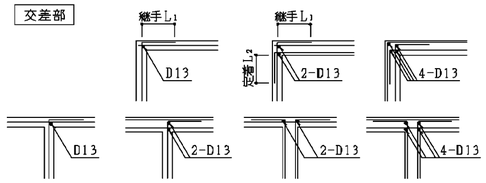
定着長さはL_a、及び継手長さはL_1とする。
※ただし耐震壁で帯筋、あばら筋の内側に定着できない場合は、ℓ=150 程度 45～90 折り曲げ、定着長さはL_2かつD/2以上とする。（通し配筋の場合は不要）
土圧を受ける壁の外側鉄筋の定着は③図による。
継手位置はどの部分でもよいが、土圧を受ける壁は5-2項の土圧面側を上端筋側に読み替える。
壁の配筋は設計図書による。
ダブル配筋では巾止筋を縦横共D10@1000以内を標準とする。

開口部

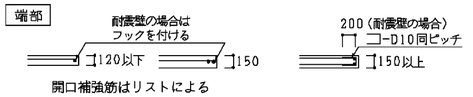


※ 斜筋を縦・横補強筋でおきかえる場合は設計者の指示による。
斜筋は内側に配置する。壁筋を切断しない場合は補強を要しない。

交差部

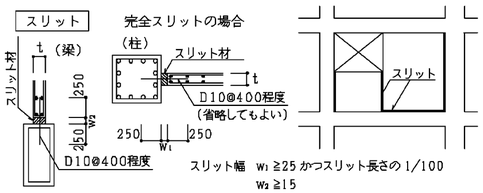


端部



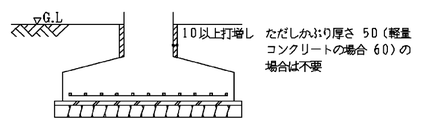
開口補強筋はリストによる

スリット

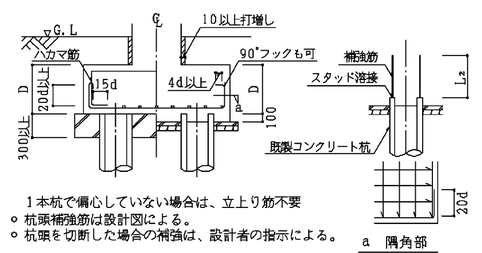


§7 基礎

7－1 独立基礎



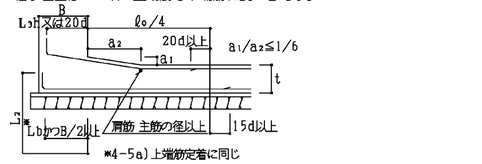
7－2 杭基礎



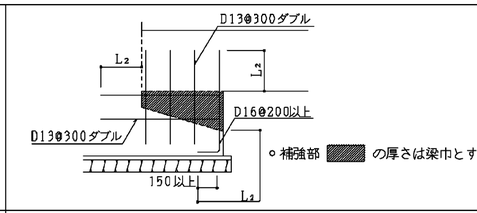
1本杭で偏心していない場合は、立上り筋不要
○ 杭頭補強筋は設計図による。
○ 杭頭を切断した場合の補強は、設計者の指示による。

7－3 べた基礎継手及び定着

継手位置は5-2項の上端筋を下端筋に読み替える。



7－4 基礎と基礎梁

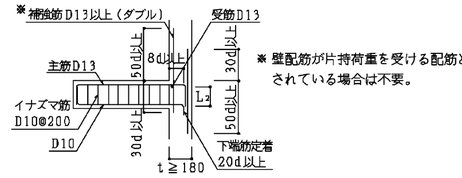


○ 補強部 ▨ の厚さは梁巾とする。

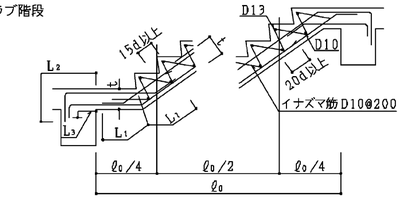
§8 その他

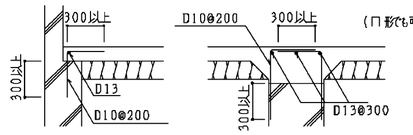
8－1 階段

片持階段



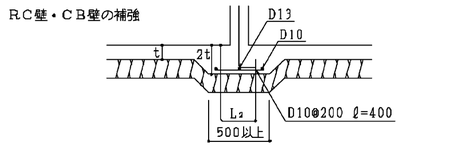
スラブ階段



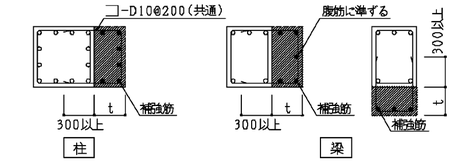


8－2 土間コンクリート

R.C壁・CB壁の補強

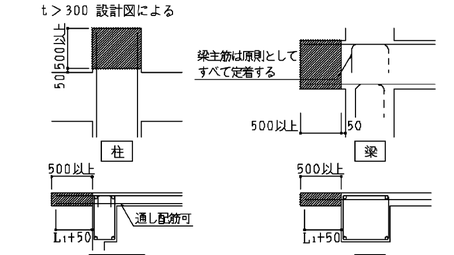


8－3 打増し補強



○ ▨ は打増し部分を示す。
○ 補強筋（定着は20d以上）
t≦ 50 補強なし　50＜t≦100 D13@300
100＜t≦200 D16@300　200＜t≦300 D16@200
t＞300 設計図による

8－4 増築予定



○ ▨ は、はつり部分を示す。
○ 増築時の継手は、原則として柱・梁の主筋は溶接継手する。
（増築側の鉄筋は水平定着でもよい。）

PROJECT 上野運動公園野球場スコアボード整備工事			PROJECT NO.
DRAWING 鉄筋コンクリート構造 配筋標準図②			SCALE
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE
			DRAWING NO. S－2

鉄 骨 工 作 標 準 図 （1） 2014 年度版

§1 一般事項

1－1 基本事項

1) 使用材料、工法等は構造特記仕様書による。
2) 設計図書に記載なき場合は本標準図に従うものとする。また本標準図に明記なき場合は、構造特記仕様書１－２－４，５に指定した共通仕様書および標準仕様書による。
3) 製作精度等に関しては、ＪＡＳＳ６の付則６「鉄骨精度検査基準」による。
4) 本標準図に示す単位は特記なき限りすべてｍｍとする。

1－2 その他

§2 共通事項

2－1 略号

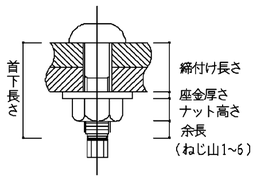
ＡＢ	アンカーボルト	ＢＨ	組立てＨ形鋼
ＢＰＬ	ベースプレート	ＣＨＥＣＫ	チェッカープレート
ＤＦＬ	ダイアフラム	ＦＢ	フラットバー
ＦＰＬ	フランジプレート	ＧＰＬ	ガセットプレート
ＨＴＢ	高力ボルト	ＲＰＬ	リブプレート
ＳＰＬ	スプライスプレート	ＴＢ	ターンバックル
ＷＰＬ	ウェブプレート	W_{1-9}	溶接記号（§4 参照）

§3 ボルト接合

3－1 高力ボルト

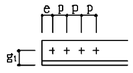
ボルトの長さ

ボルトの呼び径	締付け長さに加える長さ	
	F8T, F10T	S10T
M16	30	25
M20	35	30
M22	40	35
M24	45	40



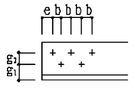
1, 特記以外はすべてS10T（トルシア形高力ボルト、上図）又はF10Tとする。
2, 本締めに使用するボルトと、仮締めボルトの兼用はしてはならない。
3, ボルトの接合面の処理は、締め付け摩擦面を平グラインダー掛け等を行い、黒皮を除去して一様に赤さびを自然発生させる。ただし、ショットブラスト等を行った場合はこの限りでない。締付けは１次締付け後、マーキングを入れてから本締めをする。
4, 亜鉛メッキボルトの場合は、すべてＰ８Ｔとする。

3－2 高力ボルトのピッチ



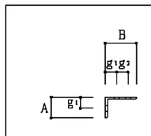
呼び径			M16	M20	M22	M24
孔径			18	22	24	26
ピッチ	標準	P	60	60	60	70
	最小		40	50	55	60
はしあき		e	40〔50〕	40〔55〕	45〔60〕	
最小縁端距離	せん断縁，手動ガス切断縁		28	34	38	44
	圧延縁，自動ガス切断縁等		22	26	28	32

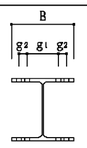
（）内はボルトが応力方向に３本以上並ばない場合を示す。

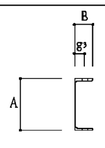


ゲージ g_2	千鳥打ちのピッチ b	
	M16, 20, 22	M24
35	50	65
40	45	60
55	25	45

3－3 形鋼のゲージ







A or B	g_1	g_2	最大軸径	B	g_1	g_2	最大軸径	B	g_3	最大軸径
**50	30		16	**100	60		16	**50	30	16
60	35		16	125	75		16	65	35	20
65	35		20	150	90		22	70	40	20
70	40		20	175	105		22	75	40	22
75	40		22	200	120		24	80	45	22
80	45		22	250	150		24	90	50	24
90	50		24	*300	150	40	24	100	55	24
100	55		24	350	140	70	24			
125	50	35	24	400	140	90	24			
130	50	40	24							
150	55	55	24							
175	60	70	24							
200	60	90	24							

＊B＝300は千鳥打ちとする。
＊＊印の欄のｇ及び最大軸径の値は強度上支障がないとき最小縁端距離の規定にかかわらず用いることができる。

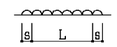
4－1 隅肉溶接

§4 溶接接合

t ≦ 16							16 ＜ t ≦ 40						
記号 W_1							記号 W_1						
t	6 以下	9	12	14	16		19	22	25	28	32	36	40
s	t	7	9	10	12		11	13	15	17	19	21	24

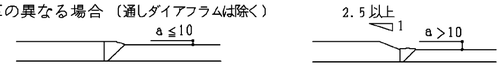
脚長（S）0 ≦ ΔS ≦ 0.5S
かつ ΔS ≦ 5
ΔS ＝ S'－S
S ＝ 設計サイズ
S'＝ 実際サイズ
余盛 0≦Δα≦0.4S かつ Δα≦4

断続隅肉溶接の長さℓ



ℓ≧10S かつ 40 以上

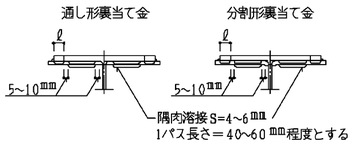
1) 板厚の異なる場合（通しダイアフラムは除く）



クレーンガーダーの場合は、全て2.5倍以上の勾配をとる。

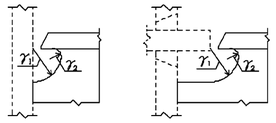
2) エンドタブ

両端に継手と同じ形状のエンドタブを取り付ける。
長さ ℓ は35以上かつ薄い方の板厚の2倍以上とする。
エンドタブを切断する場合溶接終了後母材より5~10mmはなして切断する。代替タブを採用する場合は溶接技量付加試験に合格した溶接工によること。
エンドタブ、裏当て金の組立て溶接は右図による。



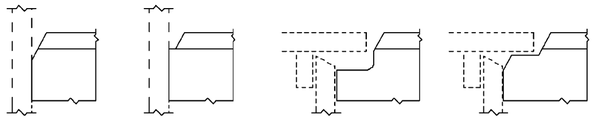
3) 開先加工 （下図は参考とする。）

a) スカラップ工法



スカラップの円弧の曲線は、フランジに滑らかに接するように加工する。r_1は35程度、r_2は10程度とする。
なお複合円は滑らかに仕上げること。
完全溶込み溶接部以外のスカラップはr=25程度とする。

b) ノンスカラップ工法



機械加工タイプ　機械加工＋ガス切りタイプ

4) 開先形状

記号	形状	適用板厚	寸法	アーク手溶接	ガスシールドアーク溶接・セルフシールドアーク溶接
W_2 MC-BL-B1 GC-BL-B1	裏当て	6≦T	G	7 +2 −2	6 +2 −2
			R	2 +1 −2	2 +1 −2
			α_1	45° −5°	45° −5°
	25以上 G 9以上	6≦T≦19	G	9 +2 −2	7 +2 −2
			R	2 +1 −2	2 +1 −2
			α_1	35° −5°	35° −5°
W_3 MC-BL-2 GC-BL-2	裏はつり	6≦T≦19	G	0 +4 −0	0 +3 −0
	G		R	2 +2 −2	2 +2 −2
			α_1	45° −5°	45° −5°
W_4 MC-BK-2 GC-BK-2	裏はつり	16＜T	G	0 +4 −0	0 +3 −0
			d_1	$\frac{2}{3}$(T−R)	$\frac{2}{3}$(T−R)
			R	2 +2 −2	2 +2 −2
	G		d_2	$\frac{1}{3}$(T−R)	$\frac{1}{3}$(T−R)
			α_1	45° −5°	45° −5°
			α_2	60° −5°	60° −5°
W_5 MC-BI-B1 GC-BI-B1	裏当て FB-4.5x19 G	3~6	G	T−2	T−2
		6~9	G		6−2

MC… はアーク手溶接　GC … はガスシールドアーク溶接・セルフシールドアーク溶接の記号を示す。

4－3 部分溶込み溶接

片面溶接 W_6										両面溶接 W_7
12 ≦ t ≦ 40										16 ≦ t ≦ 40
t	12	16	19	22	25	28	32	36	40	D=(t−2)/2
D	10	11	12	13	13	14	15	15	16	
t/4 ≦ S ≦ 10										

4－4 フレア溶接

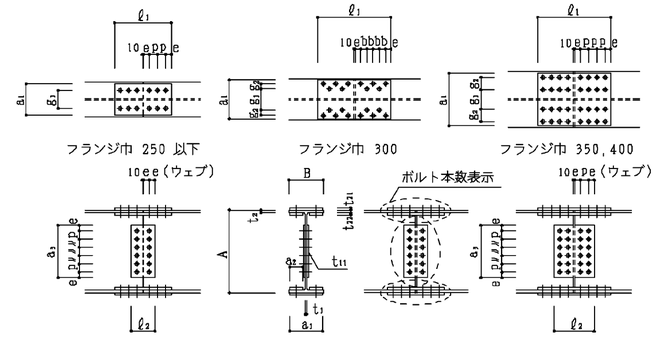
丸鋼等溶接 W_8	軽量形鋼等溶接 W_9
D/2 D/2 D D/2 D/2 D D D/2	t≧3 のとき s=t t<3 のとき s=3

4－5 その他

加工工程中及び現場建方後においてもアークストライク、ショートビートをしてはならない。

§5 継手

5－1 継手リスト

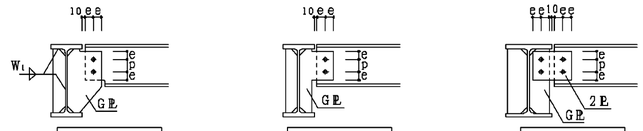


材種	主材	高力ボルト径	フランジ			ウェブ		
			ボルト	外側添板	内側添板	ボルト	添板	ピッチ
	H−A×B×t_1×t_2		総2PL−		4PL−	総2PL−		
	BH−A×B×t_1×t_2		本数	t_{21}×a_3×ℓ_1	t_{22}×a_3×ℓ_1	本数	t_{11}×a_3×ℓ_2	
	H− × × ×			× ×	× ×		× ×	
	H− × × ×			× ×	× ×		× ×	
	H− × × ×			× ×	× ×		× ×	
	H− × × ×			× ×	× ×		× ×	
	H− × × ×			× ×	× ×		× ×	
	H− × × ×			× ×	× ×		× ×	
	H− × × ×			× ×	× ×		× ×	
	H− × × ×			× ×	× ×		× ×	
	H− × × ×			× ×	× ×		× ×	
	H− × × ×			× ×	× ×		× ×	
	H− × × ×			× ×	× ×		× ×	
	H− × × ×			× ×	× ×		× ×	

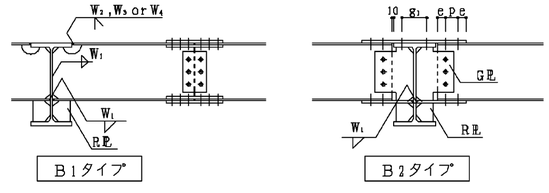
1, フランジPL面もしくはウェブPL面で、段差1mmを超える場合は、フィラーPLを入れて調整すること。
2, a_3は原則として梁成の 2/3 以上確保すること。

5－2 小梁仕口

ピン接合 Aタイプ



剛接合 Bタイプ



1, GPL, RPL は材種、版厚とも小梁のWPLと同等以上とする。
2, 継手プレート及び高力ボルトはリストによる。

PROJECT	PROJECT NO.
上野運動公園 野球場スコアボード 整備工事	
DRAWING	SCALE
鉄骨工作標準図①	
APPROVED / CHECKED / DRAWN	DATE
	DRAWING NO.
	S−3

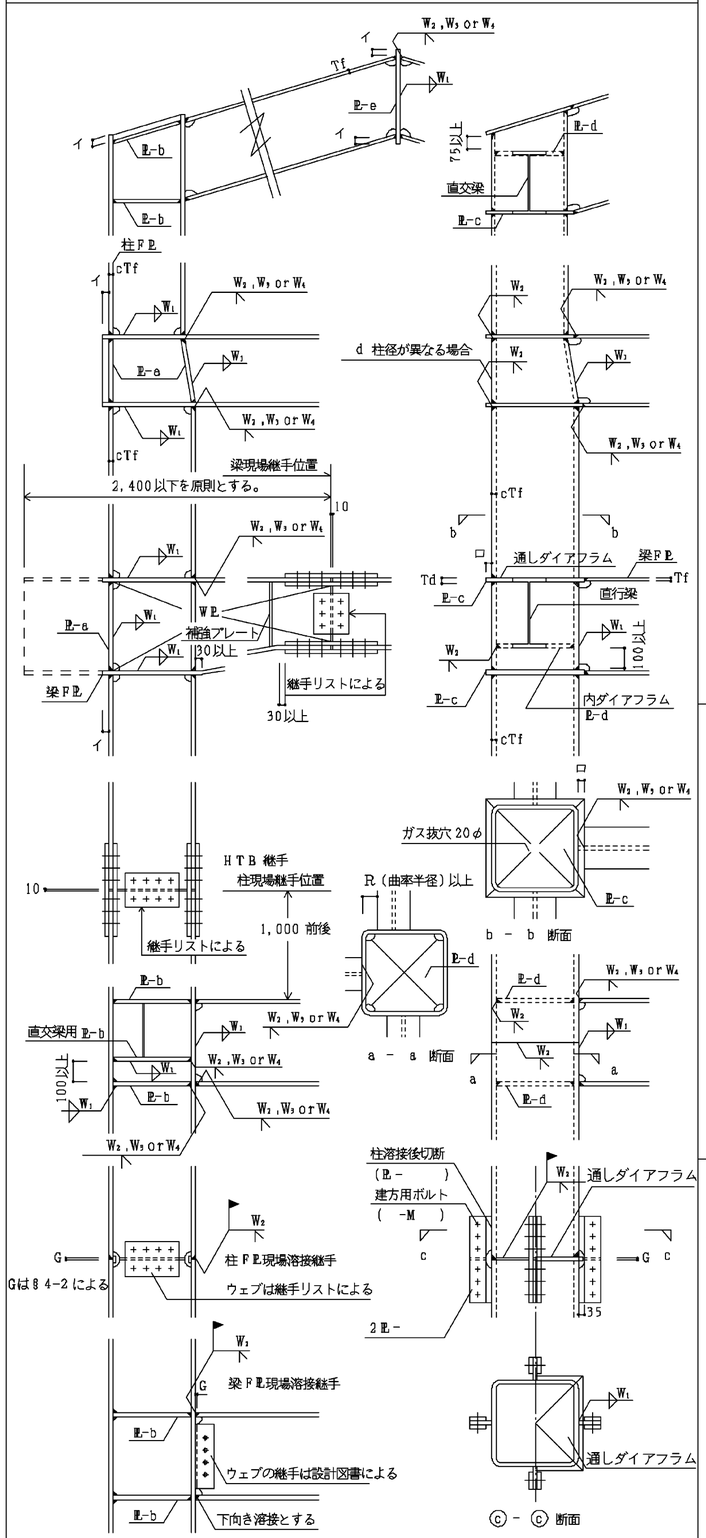
鉄 骨 工 作 標 準 図 （2） 2014 年度版

§6 柱梁接合部及び継手

6－1 勾配屋根

6－2 梁 通 し

6－3 仕口と継手

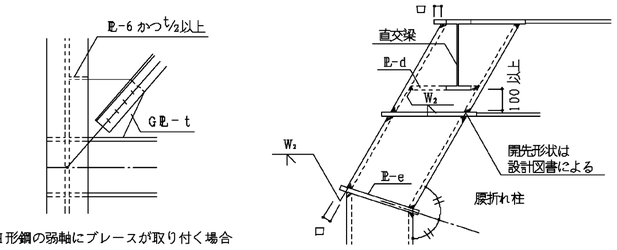


柱がH形鋼の場合　　柱が角形鋼管の場合

6－4 柱 通 し

6－5 現場溶接継手

6－6 その他



柱がH形鋼の場合　　柱が角形鋼管の場合

1） パネルゾーンのPLの厚さ

1,	PL－a（鉛直スチフナ）	上下柱のFPLの厚い方より1サイズ UP 以上
2,	PL－b（水平スチフナ）	仕口部に集結する梁の最大FPLより1サイズUP以上
3,	PL－c（通しダイアフラム）	仕口部に集結する梁の最大FPLより2サイズUP以上かつ柱のFPL以上
4,	PL－d（内ダイアフラム）	仕口部に集結する梁の最大FPLより2サイズUP以上
5,	PL－e（折れ曲がり部）	梁（柱）のFPLより1サイズUP以上

2） 出寸法

イ 25㎜かつcTf以上

ロ cTf≦25の場合 25
cTf≧28の場合 30

3） 注記

1, ダイアフラムの材質は特記仕様書による。特記なき場合は、接続する柱及び梁の1ランク上質とする。また接続する柱及び梁の強度及び材質の異なる場合は、強度は大きい方に同じとし、材質は上の方の1ランク上質とする。

2, d（6-2項）上下階で柱径が異なる場合の板厚は上下階柱の厚い方、材質は上下階柱と同質以上とし、折り曲げ加工又は溶接加工とする。

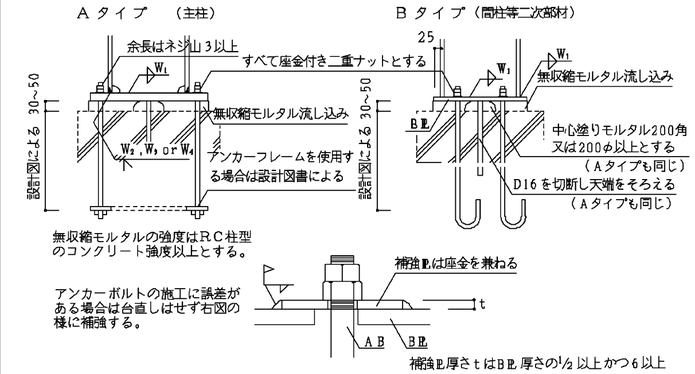
3, ハンチ部でFPLを折曲げる場合はR≧10Tfとし補強プレートを入れる。ただし、勾配のゆるい場合（1/6程度）は不要。

4, ダイアフラムと梁フランジの溶接部は、梁フランジはダイアフラムの厚みの内部で溶接すること。（告示 1464）

5, 現場溶接を行なう場合は工事監理者の承諾を得、養生に十分配慮して行うこと。

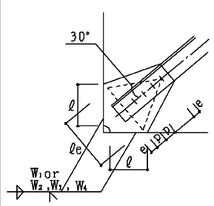
7－1 一般柱脚

§7 柱 脚



8－1 プレースリスト

§8 壁面ブレース



符号	部 材	高力ボルト		GPL		溶 接	
		径	本数	t	ℓe	脚長	Σℓ

1, GPL の最小幅 ℓe が確保できない場合は、設計者の指示により板厚を変更する。

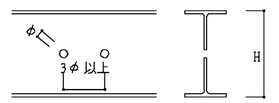
2, 丸鋼を使用する場合は、丸鋼、ターンバックル共ＪＩＳ規格品を使用する。

3, 床面ブレースは設計図書に明記なき場合は壁面に準ずる。

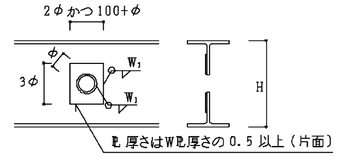
9－1 貫通補強

§9 その他

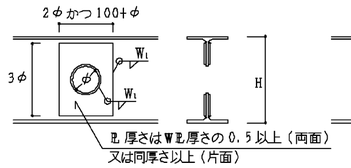
Aタイプ （φ≦0.1H）



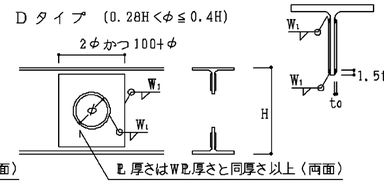
Bタイプ （0.1H<φ≦0.2H）



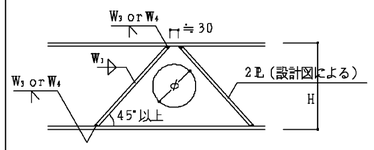
Cタイプ （0.2H<φ≦0.28H）



Dタイプ （0.28H<φ≦0.4H）

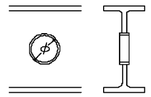


Eタイプ （0.4H<φ≦0.5H）



Fタイプ

既製品（評定品）を用いた場合

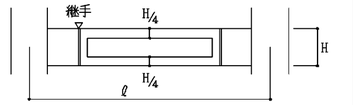


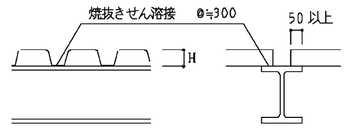
ハイリング、フリードーナツ
OSリング等 使用可

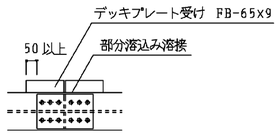
1, 特記なき限り補強方法は上図によるが、孔径（φ）は0.5H以下とし、そのピッチは3.0φ以上とする。（これを満足できない場合は設計者の指示による。）

2, 貫通孔を設ける範囲は右図の□部分を原則とする。

3, 貫通孔が多くある場合はWPLを厚くした（WPL＋補強PL）BHとする。



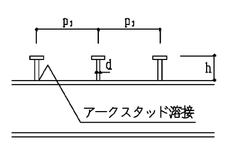


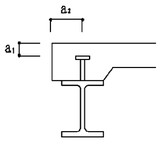


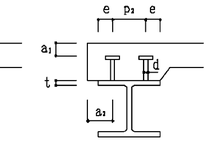
○ 合成スラブの場合はメーカー仕様による。

9－2 デッキプレート

9－3 スタッドジベル





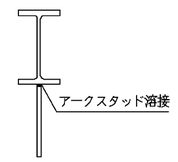


h ≧ 4.0d
7.5d ≦ p₁ ≦ 300
p₂ ≧ 5.0d
a₁ ≧ 40
a₂ ≧ 100
e ≧ 40
d ≦ 2.5t

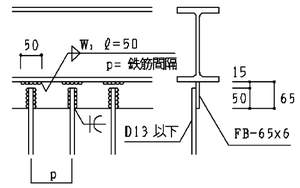
h, p₁, p₂ 設計図書による。

9－4 壁筋の溶接

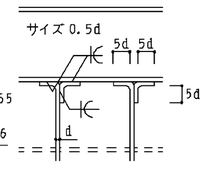
Aタイプ（標準）



Bタイプ （軽微なRC壁の場合）



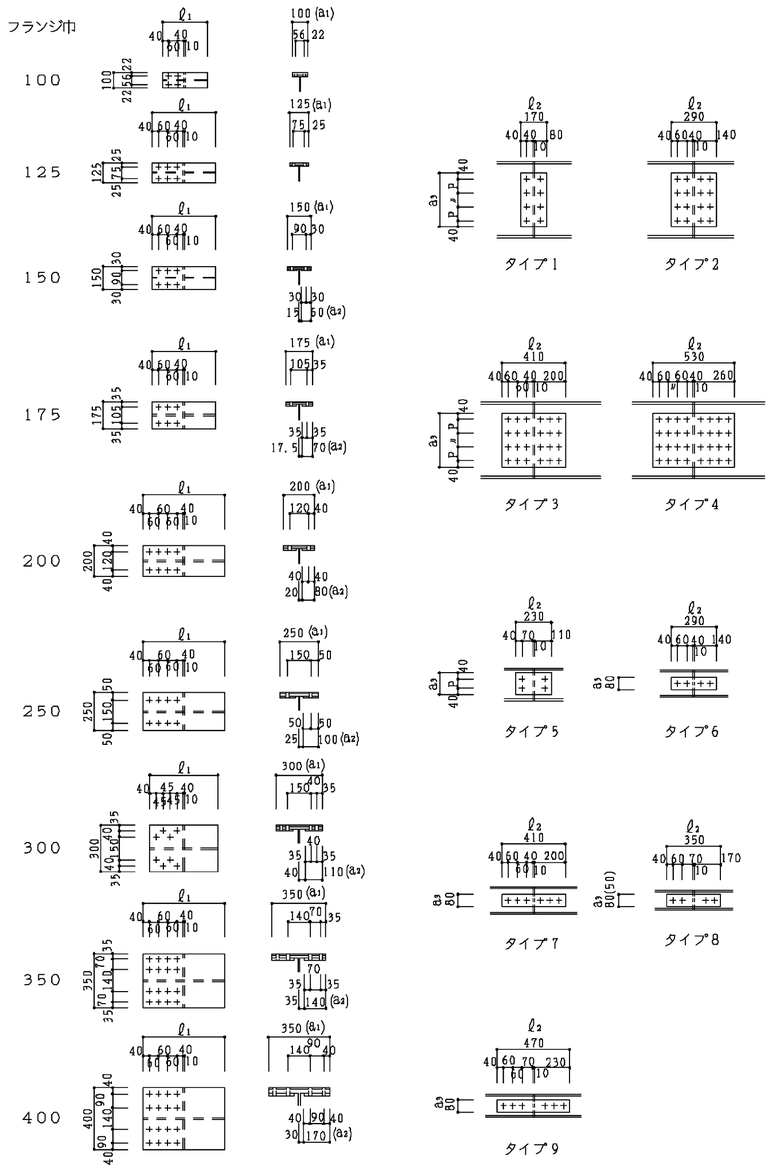
Cタイプ （ブロック壁の場合）



PROJECT	上野運動公園 野球場スコアボード 整備工事		PROJECT NO.
DRAWING	鉄骨工作標準図②		SCALE
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE
			DRAWING NO. S－4

H 形 鋼 継 手 標 準 図 （1） 2013年度版

フランジボルト配置　　ウェブボルト配置



梁４００N級鋼

採用	主材 H- A x B x t_1 x t_2	高力ボルト径	フランジ ボルト総本数	フランジ 外側添板 2PL- t_{21} x a_1 x ℓ_1	フランジ 内側添板 4PL- t_{22} x a_2 x ℓ_1	ウェブ ボルト総本数	ウェブ 添板 2PL- t_{11} x a_3 x ℓ_2	P	タイプ
	H- x x x			x x	x x		x x		
	H- x x x			x x	x x		x x		
	H- x x x			x x	x x		x x		
	H- x x x			x x	x x		x x		
	H- x x x			x x	x x		x x		
	H- x x x			x x	x x		x x		
	H- x x x			x x	x x		x x		
	H- x x x			x x	x x		x x		
	H- x x x			x x	x x		x x		

梁４００N級鋼

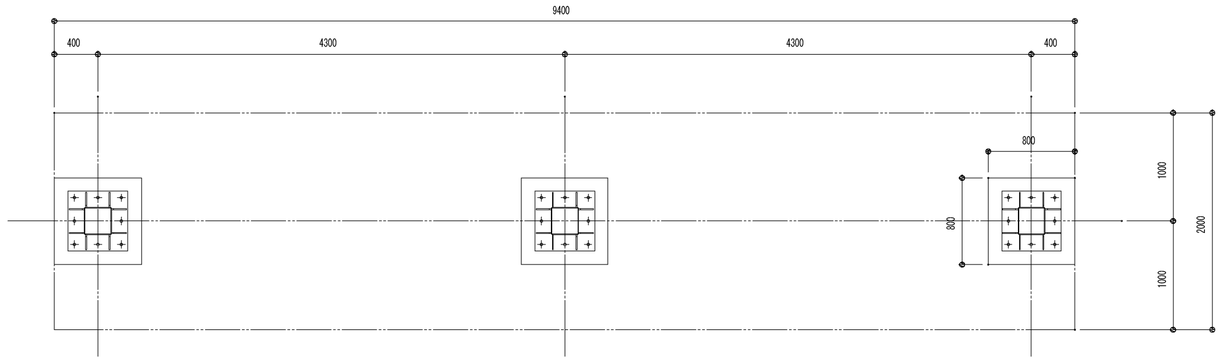
採用	主材 H- A x B x t_1 x t_2	高力ボルト径	フランジ ボルト総本数	フランジ 外側添板 2PL- t_{21} x a_1 x ℓ_1	フランジ 内側添板 4PL- t_{22} x a_2 x ℓ_1	ウェブ ボルト総本数	ウェブ 添板 2PL- t_{11} x a_3 x ℓ_2	P	タイプ
	H-200x100x5.5x 8	16	16	16 x100x290	——	4	6 x140x170	60	1
	H-250x125x 6 x 9	16	24	12 x125x410	——	8	6 x170x290	90	2
	H-300x150x6.5x 9	16	16	9 x150x290	9 x 60x290	6	6 x200x170	60	1
	H-300x150x6.5x 9	20	16	9 x150x290	9 x 60x290	4	6 x200x170	120	1
	H-350x175x 7 x11	16	24	9 x175x410	9 x 70x410	8	6 x260x170	60	1
	H-350x175x 7 x11	20	16	9 x175x290	9 x 70x290	6	6 x260x170	90	1
	H-400x200x 8 x13	20	24	9 x200x410	9 x 80x410	8	9 x260x170	60	1
	H-400x200x 8 x13	22	24	9 x200x410	9 x 80x410	6	9 x260x170	90	1
	H-450x200x 9 x14	20	24	12 x200x410	12 x 80x410	10	9 x320x170	60	1
	H-450x200x 9 x14	22	24	12 x200x410	12 x 80x410	8	12 x260x170	60	1
	H-500x200x10 x16	20	24	12 x200x410	12 x 80x410	10	9 x320x170	60	1
	H-500x200x10 x16	22	24	12 x200x410	12 x 80x410	8	9 x350x170	90	1
	H-600x200x11 x17	20	24	12 x200x410	12 x 80x410	16	9 x440x290	120	2
	H-600x200x11 x17	22	24	12 x200x410	12 x 80x410	14	9 x440x170	60	1
	H-148x100x 6 x 9	16	16	16 x100x290	——	4	6 x 80x290	—	6
	H-194x150x 6 x 9	16	16	9 x150x290	9 x 60x290	4	6 x140x230	60	5
	H-194x150x 6 x 9	20	16	9 x150x290	9 x 60x290	4	6 x140x230	60	5
	H-244x175x 7 x11	16	24	9 x175x410	9 x 70x410	8	6 x170x290	90	2
	H-244x175x 7 x11	20	16	9 x175x290	9 x 70x290	4	9 x140x170	60	1
	H-294x200x 8 x12	20	24	9 x200x410	9 x 80x410	6	9 x200x170	60	1
	H-294x200x 8 x12	22	24	9 x200x410	9 x 80x410	4	6 x200x170	120	1
	H-340x250x 9 x14	20	32	12 x250x530	12 x100x530	12	9 x200x290	60	2
	H-340x250x 9 x14	22	24	12 x250x410	12 x100x410	6	9 x200x170	60	1
	H-390x300x10 x16	20	32	12 x300x440	12 x110x440	8	9 x260x170	60	1
	H-390x300x10 x16	22	24	12 x300x350	12 x110x350	6	9 x260x170	90	1
	H-440x300x11 x18	20	32	12 x300x440	12 x110x440	10	9 x320x170	60	1
	H-440x300x11 x18	22	32	12 x300x440	12 x110x440	10	9 x320x170	60	1
	H-488x300x11 x18	20	32	12 x300x440	12 x110x440	16	12 x350x290	90	2
	H-488x300x11 x18	22	32	12 x300x440	12 x110x440	10	12 x320x170	60	1
	H-588x300x12 x20	20	40	12 x300x530	16 x110x530	16	9 x440x290	120	2
	H-588x300x12 x20	22	32	12 x300x440	16 x110x440	14	9 x440x170	60	1
	H-700x300x13 x24	20	48	19 x300x620	19 x110x620	18	9 x560x170	60	1
	H-700x300x13 x24	22	40	19 x300x530	19 x110x530	18	9 x560x170	60	1
	H-800x300x14 x26	20	48	19 x300x620	19 x110x620	28	12 x620x290	90	2
	H-800x300x14 x26	22	40	19 x300x530	19 x110x530	20	12 x620x170	60	1
	H-890x299x15 x23	20	48	16 x300x620	19 x110x620	32	12 x710x290	90	2
	H-890x299x15 x23	22	40	16 x300x530	19 x110x530	24	12 x740x170	60	1
	H-900x300x16 x28	20	56	19 x300x710	22 x110x710	32	12 x710x290	90	2
	H-900x300x16 x28	22	48	19 x300x620	22 x110x620	24	12 x740x170	60	1
	H-912x302x18 x34	20	64	25 x300x800	25 x110x800	44	16 x680x290	60	2
	H-912x302x18 x34	22	56	25 x300x710	25 x110x710	40	16 x620x290	60	2
	H-918x303x19 x37	20	72	25 x300x890	28 x110x890	44	16 x680x290	60	2
	H-918x303x19 x37	22	56	25 x300x710	28 x110x710	40	16 x620x290	60	2
	H-100x100x 6 x 8	16	16	16 x100x290	——	4	9 x 50x350	—	8
	H-125x125x6.5x 9	16	24	12 x125x410	——	4	6 x 80x350	—	8
	H-150x150x 7 x10	16	16	9 x150x290	9 x 60x290	4	9 x 80x350	—	8
	H-150x150x 7 x10	20	16	9 x150x290	9 x 60x290	4	9 x 80x350	—	8
	H-175x175x7.5x11	16	24	9 x175x410	9 x 70x410	4	9 x 80x290	—	6
	H-175x175x7.5x11	20	16	9 x175x290	9 x 60x290	4	9 x 80x290	—	6
	H-200x200x 8 x12	20	16	9 x200x290	9 x 80x290	4	6 x140x170	60	1
	H-200x200x 8 x12	22	16	9 x200x290	9 x 80x290	4	6 x140x170	60	1
	H-250x250x 9 x14	20	32	12 x250x530	12 x100x530	4	9 x140x170	60	1
	H-250x250x 9 x14	22	24	12 x250x410	12 x100x410	4	9 x140x170	60	1
	H-300x300x10 x15	20	32	9 x300x440	12 x110x440	6	9 x200x170	60	1
	H-300x300x10 x15	22	24	9 x300x350	12 x110x530	6	9 x200x170	60	1
	H-350x350x12 x19	20	48	12 x350x410	12 x140x410	8	12 x200x290	120	2
	H-350x350x12 x19	22	32	12 x350x290	12 x140x290	6	12 x200x170	90	1
	H-400x400x13 x21	20	48	12 x400x410	16 x170x410	12	12 x260x290	90	2
	H-400x400x13 x21	22	48	12 x400x410	16 x170x410	8	12 x260x170	60	1
	H- x x x			x x	x x		x x		
	H- x x x			x x	x x		x x		
	H- x x x			x x	x x		x x		
	H- x x x			x x	x x		x x		

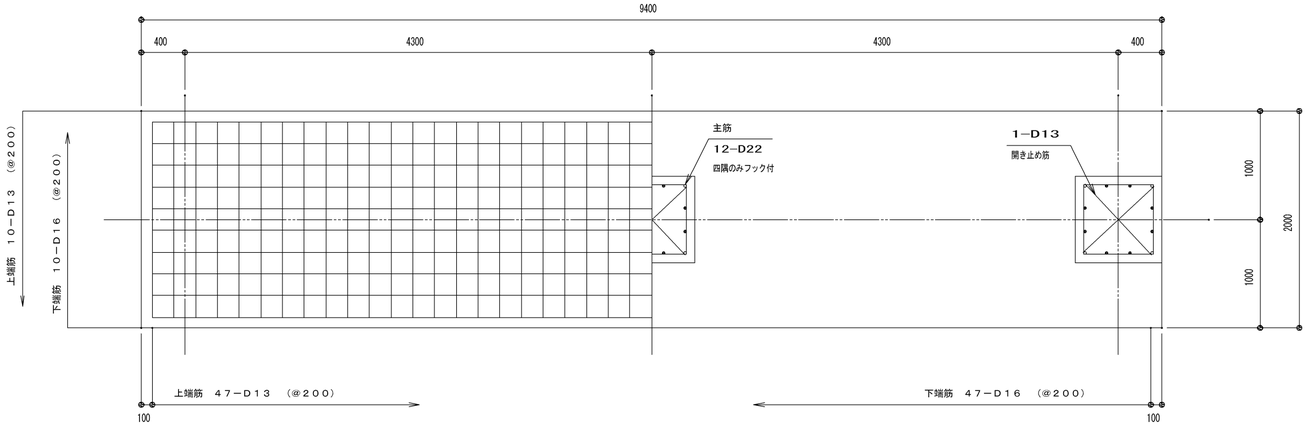
梁４９０N級鋼

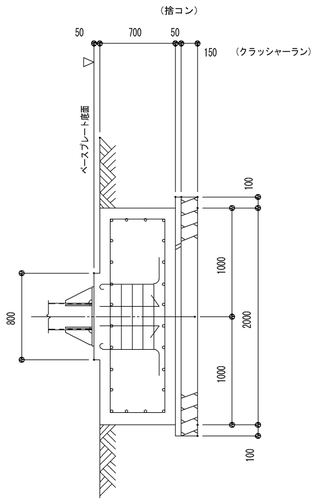
採用	主材 H- A x B x t_1 x t_2	高力ボルト径	フランジ ボルト総本数	フランジ 外側添板 2PL- t_{21} x a_1 x ℓ_1	フランジ 内側添板 4PL- t_{22} x a_2 x ℓ_1	ウェブ ボルト総本数	ウェブ 添板 2PL- t_{11} x a_3 x ℓ_2	P	タイプ
	H-400x200x 8 x13	20	24	9 x200x410	9 x 80x410	12	9 x260x290	90	2
	H-400x200x 8 x13	22	24	9 x200x410	9 x 80x410	8	9 x260x170	60	1
	H-450x200x 9 x14	22	24	12 x200x410	12 x 80x410	10	9 x320x170	60	1
	H-500x200x10 x16	20	32	12 x200x530	12 x 80x530	12	9 x380x170	60	1
	H-500x200x10 x16	22	24	12 x200x410	12 x 80x410	12	9 x380x170	60	1
	H-600x200x11 x17	20	32	12 x200x530	12 x 80x530	24	12 x380x290	60	2
	H-600x200x11 x17	22	24	12 x200x410	12 x 80x410	20	9 x440x290	90	2
	H-390x300x10 x16	20	40	12 x300x530	12 x110x530	12	9 x260x290	90	2
	H-390x300x10 x16	22	32	12 x300x440	12 x110x440	12	9 x260x290	90	2
	H-440x300x11 x18	20	48	12 x300x620	12 x110x620	20	9 x320x290	60	2
	H-440x300x11 x18	22	40	12 x300x530	12 x110x530	10	9 x320x170	60	1
	H-488x300x11 x18	20	48	12 x300x620	12 x110x620	16	12 x350x290	90	2
	H-488x300x11 x18	22	40	12 x300x530	12 x110x530	12	9 x380x170	60	1
	H-588x300x12 x20	20	56	12 x300x710	16 x110x710	24	12 x380x290	60	2
	H-588x300x12 x20	22	40	12 x300x530	16 x110x530	20	9 x440x290	90	2
	H-700x300x13 x24	20	72	19 x300x890	19 x110x890	32	12 x500x290	60	2
	H-700x300x13 x24	22	56	19 x300x710	19 x110x710	24	12 x530x290	90	2
	H-800x300x14 x26	20	72	19 x300x890	19 x110x890	36	12 x560x290	60	2
	H-800x300x14 x26	22	56	19 x300x710	19 x110x710	28	12 x620x290	90	2
	H-890x299x15 x23	20	64	16 x300x800	19 x110x800	48	12 x740x290	60	2
	H-890x299x15 x23	22	56	16 x300x710	19 x110x710	40	16 x620x290	60	2
	H-900x300x16 x28	20	80	19 x300x980	22 x110x980	48	12 x740x290	60	2
	H-900x300x16 x28	22	64	19 x300x800	22 x110x800	40	16 x620x290	60	2
	H-912x302x18 x34	20	88	25 x300x1070	25 x110x1070	48	12 x740x290	60	2
	H-912x302x18 x34	22	72	25 x300x890	25 x110x890	44	12 x680x290	60	2
	H-918x303x19 x37	20	96	25 x300x1160	28 x110x1160	48	12 x740x290	60	2
	H-918x303x19 x37	22	80	25 x300x980	28 x110x980	44	12 x680x290	60	2
	H-300x300x10 x15	20	40	9 x300x530	12 x110x530	6	9 x200x170	60	1
	H-300x300x10 x15	22	32	9 x300x440	12 x110x440	6	9 x200x170	60	1
	H-350x350x12 x19	20	48	12 x350x410	12 x140x410	12	12 x200x290	60	2
	H-350x350x12 x19	22	48	12 x350x410	12 x140x410	8	12 x200x290	120	2
	H-400x400x13 x21	20	80	12 x400x650	16 x170x650	12	12 x260x290	90	2
	H-400x400x13 x21	22	64	12 x400x530	16 x170x530	8	12 x260x170	60	1
	H- x x x			x x	x x		x x		
	H- x x x			x x	x x		x x		
	H- x x x			x x	x x		x x		
	H- x x x			x x	x x		x x		
	H- x x x			x x	x x		x x		
	H- x x x			x x	x x		x x		
	H- x x x			x x	x x		x x		
	H- x x x			x x	x x		x x		
	H- x x x			x x	x x		x x		
	H- x x x			x x	x x		x x		
	H- x x x			x x	x x		x x		
	H- x x x			x x	x x		x x		
	H- x x x			x x	x x		x x		

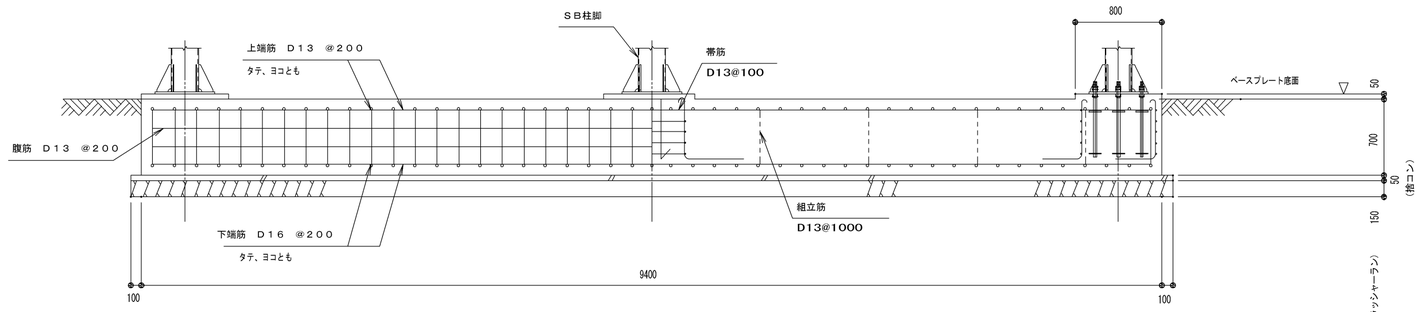
（ＳＣＳＳ－Ｈ９７に準拠）

PROJECT 上野運動公園 野球場スコアボード 整備工事		PROJECT NO.
DRAWING H型鋼 継手標準図①		SCALE
APPROVED	CHECKED / DRAWN	DATE
		DRAWING NO. S−5









基礎詳細図　S＝1：50

注記

1．コンクリート強度　：　Fc＝21N／mm²

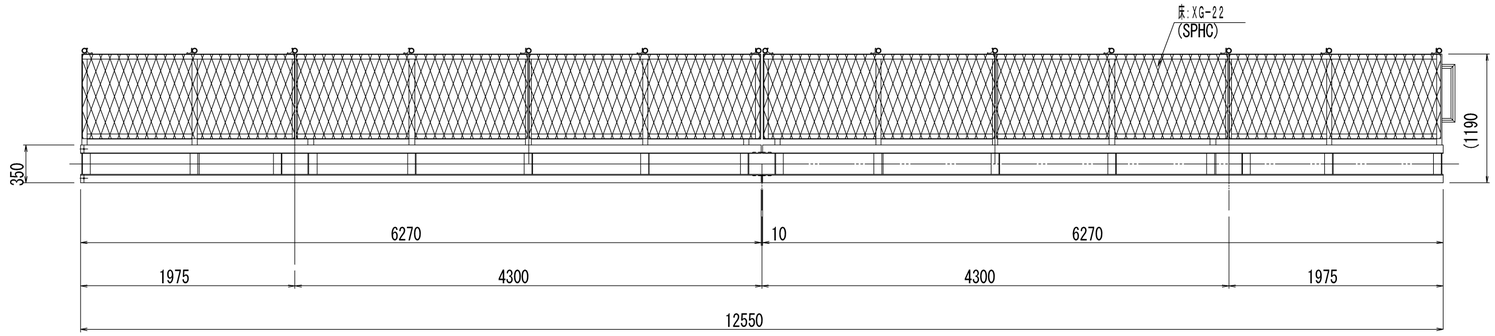
2．鉄筋　：　D19以上　：SD345

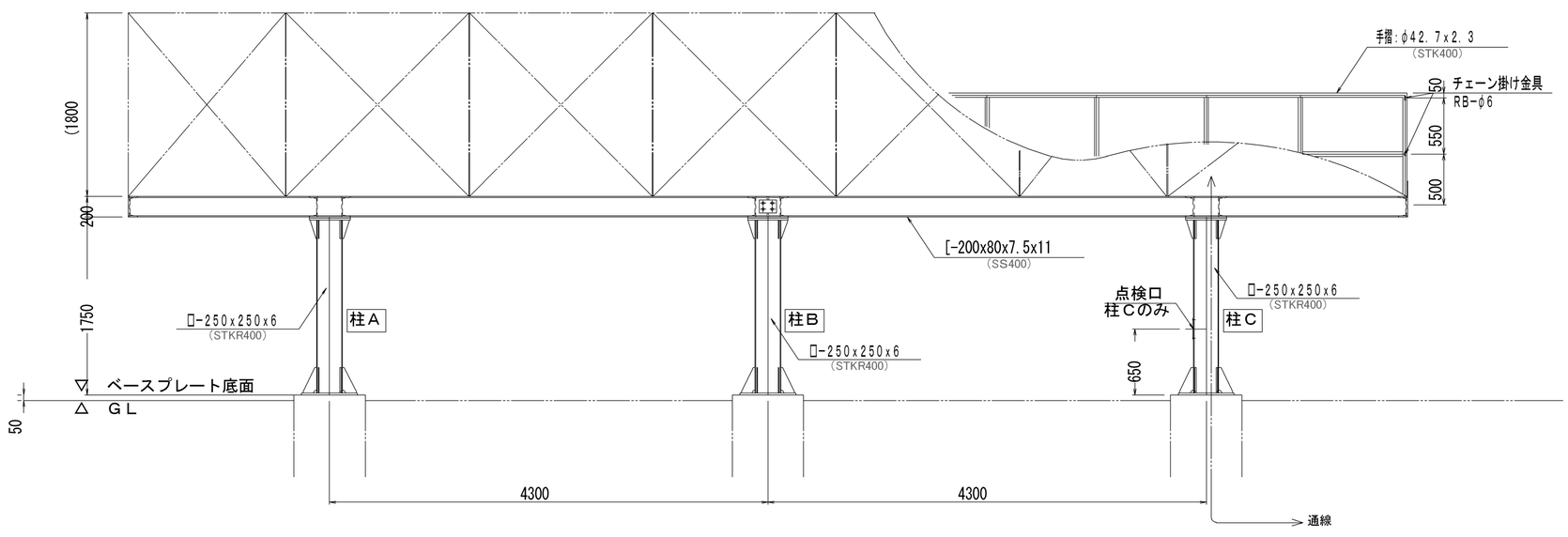
D16以下　：SD295A

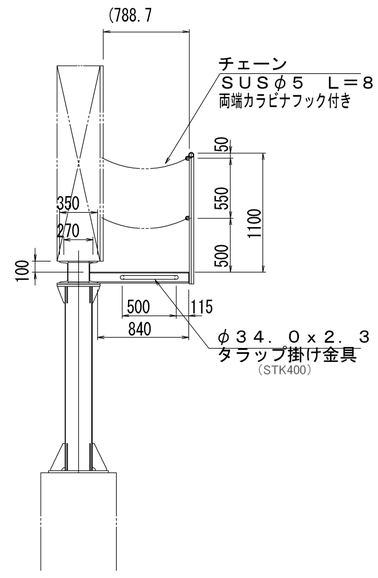
3．地耐力　：　長期　40N／m²

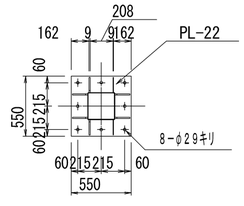
短期　80N／m²

PROJECT 上野運動公園 野球場スコアボード 整備工事			PROJECT NO.
DRAWING スコアボード架台基礎 詳細図			SCALE 1:40
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE
			DRAWING NO. S−6









ベース部（共通）

注記

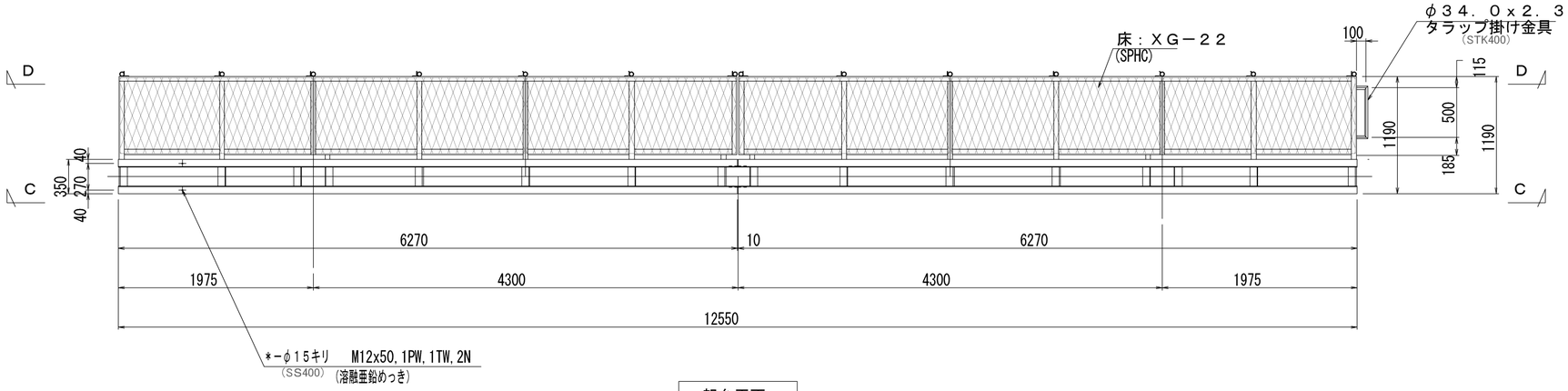
1. 材質　特記外は、SS400（ベース、フランジ、リブ等の板材・梁）
STK400（手摺、タラップ掛け金具）
STKR400（柱）

2. 表面仕上　溶融亜鉛メッキ（JIS H8641 2種）＋錆止め塗装後
N1　5分艶（ｴﾎﾟｷｼ系樹脂塗料下塗の上、ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系樹脂塗料上塗）

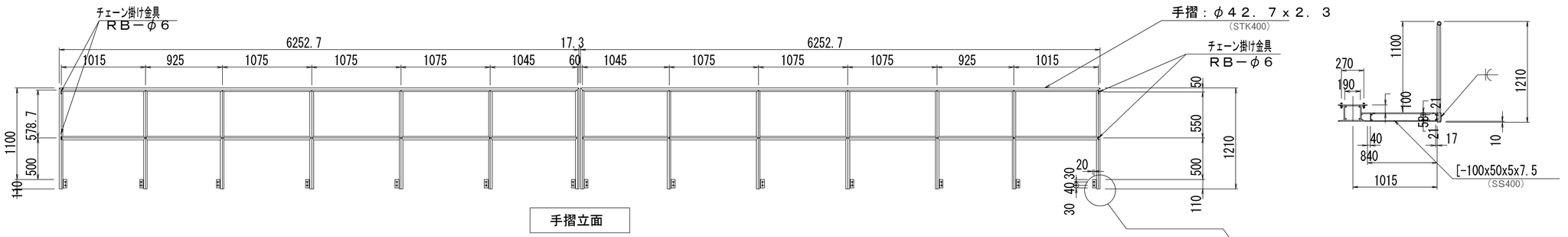
3. 製作基数　1基

特記外の部材の接合は全周隅肉溶接を基本とする。
脚部と架台の取合い、機器取付のボルトは溶融亜鉛メッキボルトとする。

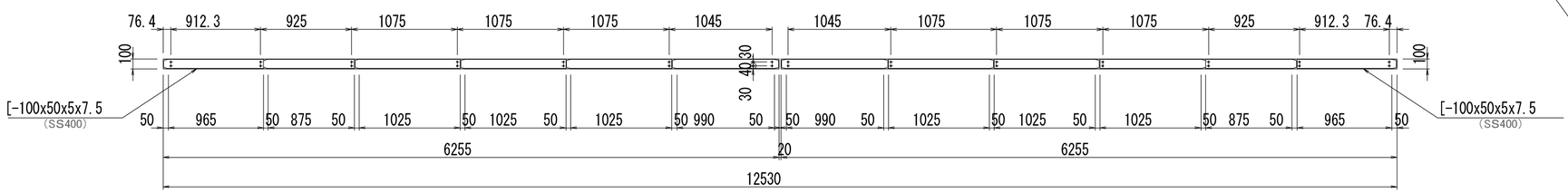
PROJECT 上野運動公園 野球場スコアボード 整備工事			PROJECT NO.	
DRAWING スコアボード架台 詳細図①			SCALE 1:40	
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE	
			DRAWING NO. S−7	



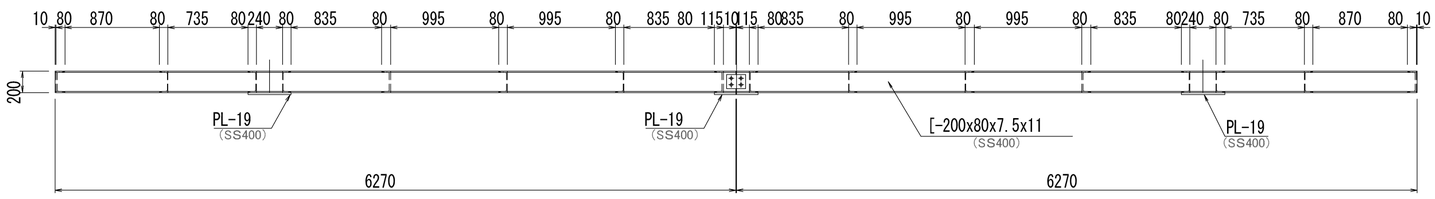
架台平面



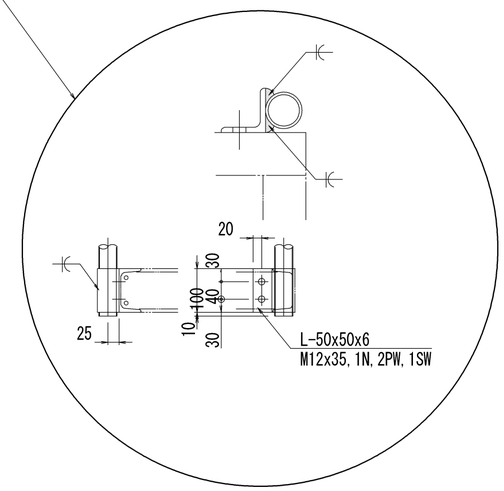
手摺立面



断面　Ｄ－Ｄ



矢視　Ｃ－Ｃ

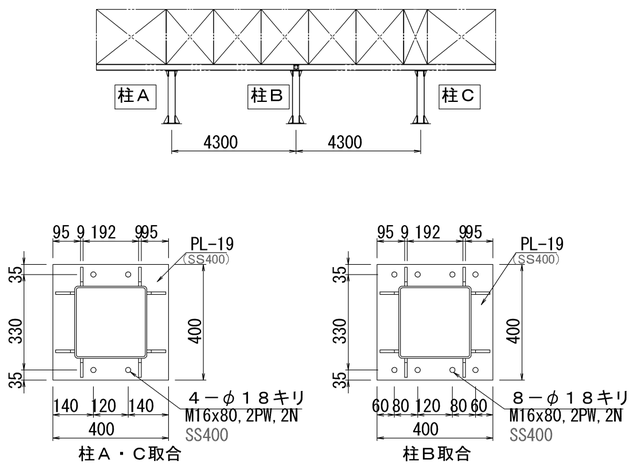


※　柱ボルト取合い箇所のチャンネル材のフランジは切り欠くこと

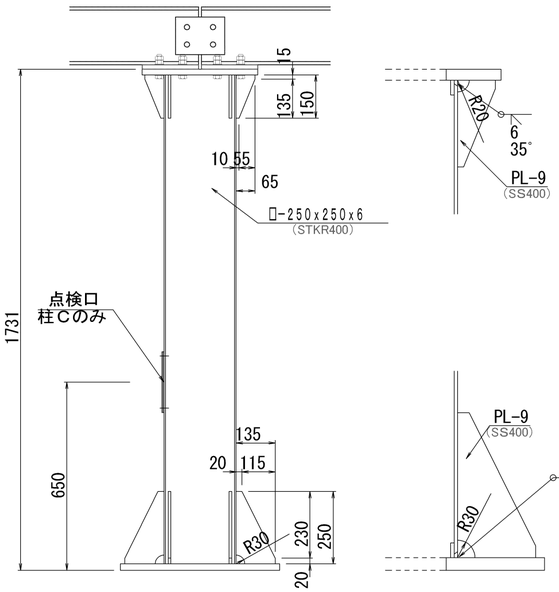
※　溶接組立後のＧ１・Ｇ２・Ｇ３　梁材の機器取付面は、平滑に仕上げること。

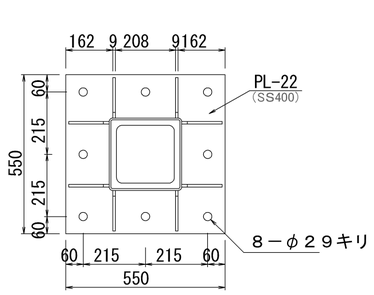
※　溶接組立後のＢ１～Ｂ８　梁材の床面は、平滑に仕上げること。

PROJECT 上野運動公園 野球場スコアボード 整備工事			PROJECT NO.	
DRAWING スコアボード架台 詳細図②			SCALE 1:40	
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE	
			DRAWING NO. S－8	

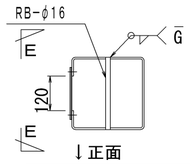


柱上部フランジ詳細

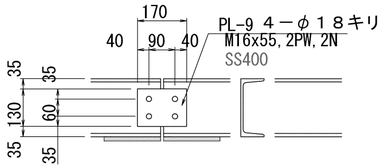


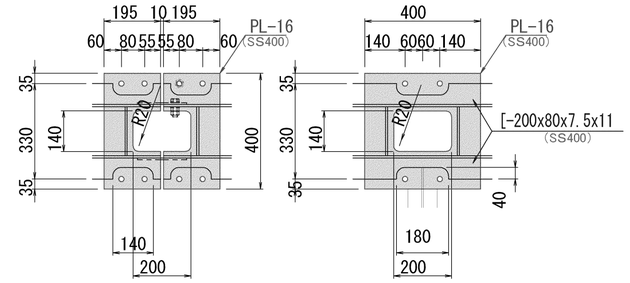


柱ベースプレート詳細（共通）

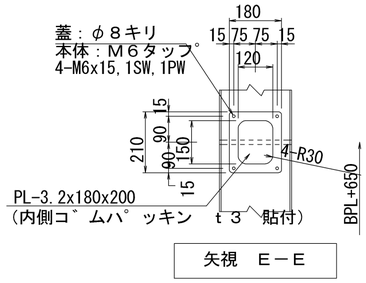


柱Ｃ点検口断面

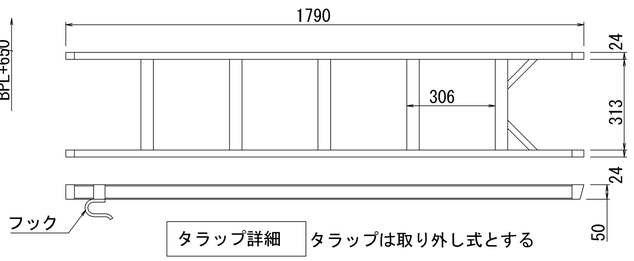




架台部フランジ取合い詳細



矢視　Ｅ－Ｅ



タラップ詳細　タラップは取り外し式とする

※材質：アルミ合金
※仕上：アルマイト処理

PROJECT 上野運動公園 野球場スコアボード 整備工事			PROJECT NO.
DRAWING スコアボード架台 詳細図③			SCALE 1:15
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE
			DRAWING NO. S－9(E)

電気設備工事特記仕様書

Ⅰ　工事名称　　上野運動公園野球場スコアボード整備工事

Ⅱ　工事場所　　三重県伊賀市小田町　地内

Ⅲ　建物概要　　野球場

Ⅳ　工事仕様　　＊包含工事の場合、◆印の項目及び事項については元請業者の業務内容に含むものとする。

項　目	特　記　事　項
１．施行基準	図面及び特記仕様書に記載のない事項については以下による。 ＊国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 「公共建築工事標準仕様書　最新版」（建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編） 「公共建築設備工事標準図　最新版」（電気設備工事編・機械設備工事編） 「公共建築改修工事標準仕様書　最新版」（電気設備工事編・機械設備工事編） 「建築工事監理指針」「電気設備工事監理指針」「機械設備工事監理指針」　最新版 ＊国土交通省国土技術政策総合研究所及び独立行政法人建築研究所監修 「建築設備耐震設計・施工指針２００５年版」 ＊消防関連法規（条例・所轄署指導要領を含む） ＊その他関連法規、関連諸基準
２．一般事項	工事の詳細については、本設計図面及び仕様書による他、上記各施工基準に準拠し、監督員指示の下に入念かつ誠実に施工すること。 設計図書に定められた内容、現場の納まり・取り合い等の不明な点や施工上の困難・不都合、図面上の誤記及び記載漏れ等に起因する問題点及び疑義、設計図書のとおりに施工することで将来不具合が発生しうると予想される場合については、その都度、監督員と協議すること。 なお設計図書のとおりの施工であっても使用上の不具合が発生した場合は協議の上、改善策を講じること。 他工事との取合いについては予め当該工事関係者間において協議し、円滑な工事進捗に努めること。なお調整不足による意匠的な仕上がり不備や不具合が発生した場合は監督員の指示により手直し施工を行うこと。
◆施工計画等	受注者は、施工に先立ち、次の書類を提出し、監督員と打合わせを行うこと。 ◆総合施工計画書 ＊詳細施工図（施工図リストを含む） 主要機器、重量機器、３ｋｇ超過吊器具等については固定方法、吊り方法等の詳細図を作図し充分な耐震性能を確保する施工法を提案すること。 なお、これらの書類の作成に際し、施工上密接に関連する工事との納まり等について十分検討すること。
◆工事使用材料等	工事に使用する機器及び材料等については、予め、次の書類を提出すること。 ＊使用機材届出書（メーカーリスト） ＊機器明細図 ＊カタログ・製作図・その他諸資料 なお、機器及び材料等の選定にあたっては見積メーカー（参考）及び国土交通省大臣営繕部監修「建設材料・設備機材等品質性能評価事業」評価名簿（最新版）又は、これらと同等以上のものとする。 また、品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先使用に努め、「みえ・グリーン購入基本方針」に準ずること。
◆工程表	関連業者間にて十分協議し実施工程表、月間工程表を作成して監督員に提出すること。 なお月間工程表には埋設・隠蔽・高所等の施工確認項目の該当時期を印すること。
◆工事写真	建設大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方（改訂第２版）－建築設備編」によるほか監督員の指示により撮影し、電子納品及び以下のものを提出する。 ＊代表写真（不可視部分や材料、寸法写真、拡大写真、撤去処分品、搬出状況等）を抽出しＬ判相当サイズで印刷。　（Ａ４版用紙に両面印刷にて３枚／ページ）　１部
◆完成写真	主たる電気設備の全景写真を黒板無しにて撮影し、Ｌ判相当サイズで印刷する。 （Ａ４版用紙に３枚／ページ）１部 撮影箇所は主要機器類、室内及び外構等の電気設備とする。詳細は監督員と協議する。
◆完成書類	工事が完成した時は各種の試験及び検査を受けるものとする。 書類については以下のもの及び上記書類を併せ、監督員の指示に従い取りまとめ提出する。 ◆工事完成報告書、工事目的物引渡書、完成写真 ◆製本図面（竣工図、施工図）：図面枚数が少ない場合、合冊でもよい。 印刷サイズは、原図サイズ及びＡ３縮小版とし、部数は監督員の指示による。 白焼き（青焼き不可）で文字潰れのないこと。表紙（可能な範囲で背表紙にも）に「年度、工事名、工期、竣工図（又は施工図）、受注者名」を印字（シール不可）すること。 ◆引渡目録、工事書類預り書 ◆工事書類（工事写真、安全教育・訓練に関する書類、産業廃棄物処理集計表等） ＊工事書類（打合記録、工事材料搬入報告） ＊完成図書（試験成績表、自社検査記録、機器完成図、取扱説明書、保証書、機器銘板写し等） ＊官公署手続き書類等（検査済証、着工届出書、設置届出書、電力会社届出書類等） ＊その他監督員の指示する書類 ただし、作成しがたい場合は、監督員との協議による。 なお、完成書類の著作権にかかる使用権は発注者に移譲するものとする。
・完成時の操作説明	操作の必要な機器については、使用開始前に操作説明を行うものとする。 また、必要に応じて簡易な操作説明書、操作注意事項書を作成し、機側に備えるものとする。
・完成確認、完成検査時の電源確保	機器の動作確認、電圧・極性・相回転等の確認が出来るよう電源を確保すること。
◆足場	設置する足場については、「手すり先行工法等に関するガイドライン」（厚生労働省　平成２１年４月）により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の２の（２）手すり据置方式又は（３）手すり先行占用足場方式により行うこと。

項　目	特　記　事　項
◆施工条件	監督員及び関係部署と協議調整し決定すること。
◆事故の発生時	工事施工中に事故が発生した場合には直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出しなければならない。 なお、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取調査、検証等に協力すること。
◆発生材の処理等	発注者へ引き渡すものについては「現場発生品調書」を提出すること。また再利用を図るものについても調書を作成し、監督員へ提出すること。　引渡を要しないものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、再生資源の利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令に従い適正に処理し、監督員に報告すること。 （マニフェストA票を提示し、E票については写しを提出すること。）
◆電子納品	工事完成図書は、竣工図・施工図のＣＡＤデータ（ＪＷＷ）及びＰＤＦを格納。
◆諸手続	工事に伴う関係官公署、電力会社等への諸手続きは、受注者がこれを代行し、必要経費も本工事に含む。
◆既設との取合い	本工事施工に伴う既設設備の軽微な加工改造は、本工事とする。
◆既設設備の調査	既設設備の改修を含む場合、他の設備、施設運営に影響を来さないよう、現地工事着工前に充分な調査をおこなうこと。又、施工前後で比較を行るよう工事前にも絶縁抵抗測定を行っておくこと。
◆工事中の保安管理	新築、増築等で自家用電気工作物の範囲が変更になった場合、その供用開始から引渡しまでの電気保安管理にかかる費用は本工事に含まれる。
◆不当介入を受けた場合の措置	暴力団員等による不当介入（三重県公共工事等暴力団等排除処置要綱第２条第１項第１項第１０号）を受けた場合の措置について （１）受注者は暴力団員等（三重県公共工事等暴力団等排除処置要綱第２条第１項第１項第８号）による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。 （２）（１）により警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。発注者への報告は文書で行うこと。 （３）受注者は暴力団員等により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。
３．耐震基準	耐震措置の計算及び施工方法は、次の事項以外は全て「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説平成８年版」（建設大臣官房長官庁営繕部監修）及び「建築設備耐震設計・施工指針（２００５年版）」（国土交通省国土技術政策総合研究所及び独立行政法人建築研究所監修）による。 （１）局部震度法による建築設備機器の設計用標準水平震度（Ｋｓ） （２）地域係数は１．０とする。 （３）自重が１００ｋｇ以下の比較的軽量な機器（標準仕様書の適用を受けるものは除く）の取付については、取付下地を入念に施工し、標準メーカーの指定する方法で確実に取付を行うものとするが、監督員の承諾を受ける。 （４）配管配線及びダクトの支持は、標準仕様書及び標準図による。 （５）機器の耐震計算書を提出すること。 重量１ｋＮ（１００ｋｇ）以上のアンカー取付機器 ※盤類、変圧器類、発電設備及び補機類、燃料タンク等水槽類、その他監督員が指示するもの。
４．施工	（１）予備線 ・長さ１ｍ以上の入線しない電線管には、１．２mm以上のビニール被覆鉄線を挿入すること。 （２）絶縁処理 ・機器・配管・支持金物において、異種金属が接触する部分には、絶縁処理をおこなう。 （３）はつり ・既設のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターを使用すること。 （４）再使用機器 ・取外し再使用機器は、清掃、絶縁測定及び機能確認のうえ取付ける。なお施工前後で比較をおこなえるよう、工事前にも絶縁抵抗測定を行っておくこと。 （５）行先表示等 ・分電盤、端子盤、制御盤、プルボックス、ハンドホール内の電線ケーブル類にはケーブルサイズ及び行先の表示を施すこと。 （６）塗装 ・エッチングプライマー１種の下地処理のうえ、指定する色にて調合ペイント２回塗りとする。金属管、２種金属線ぴ、吊りボルト、支持具等鋼板製（ＳＵＳ、溶融亜鉛メッキ、樹脂製は除く）は原則として塗装を施すこと。 （７）保護キャップ等 ・レースウェイ等のダクタークリップが、人が容易に近づける場所、高さ（おおよそ２m以下）にある場合は保護キャップを取り付けること。 （８）防火区画部は国土交通大臣認定工法にて防火区画処理を行うこと。（８）セパレータ ・分電盤、端子盤、制御盤、コンセント内等に強電回路、弱電回路が混在する場合はセパレータを取り付けること。 （９）地中埋設配管及び埋設表示杭・シート ・配管の埋設深さは、ＧＬ－９００とする。（埋設Wシートを布設のこと） （１０）防火区画等の貫通部は、関係法令に適合し、貫通部に適合した方法で、防火処理を行う。
５．その他	（１）使用機械 ・低騒音型、低振動型の建設機械の使用に努めること。 （２）測定機器の校正記録 ・工事で使用する測定機器に対しては適正に校正した器具を使用しなければならない。測定に先立ち使用する測定機器の検査済証（写し）又は校正記録（写し）を監督員に提示すること。 （３）設計図書上に示すメーカー型番・姿図等は参考とする。

工事範囲

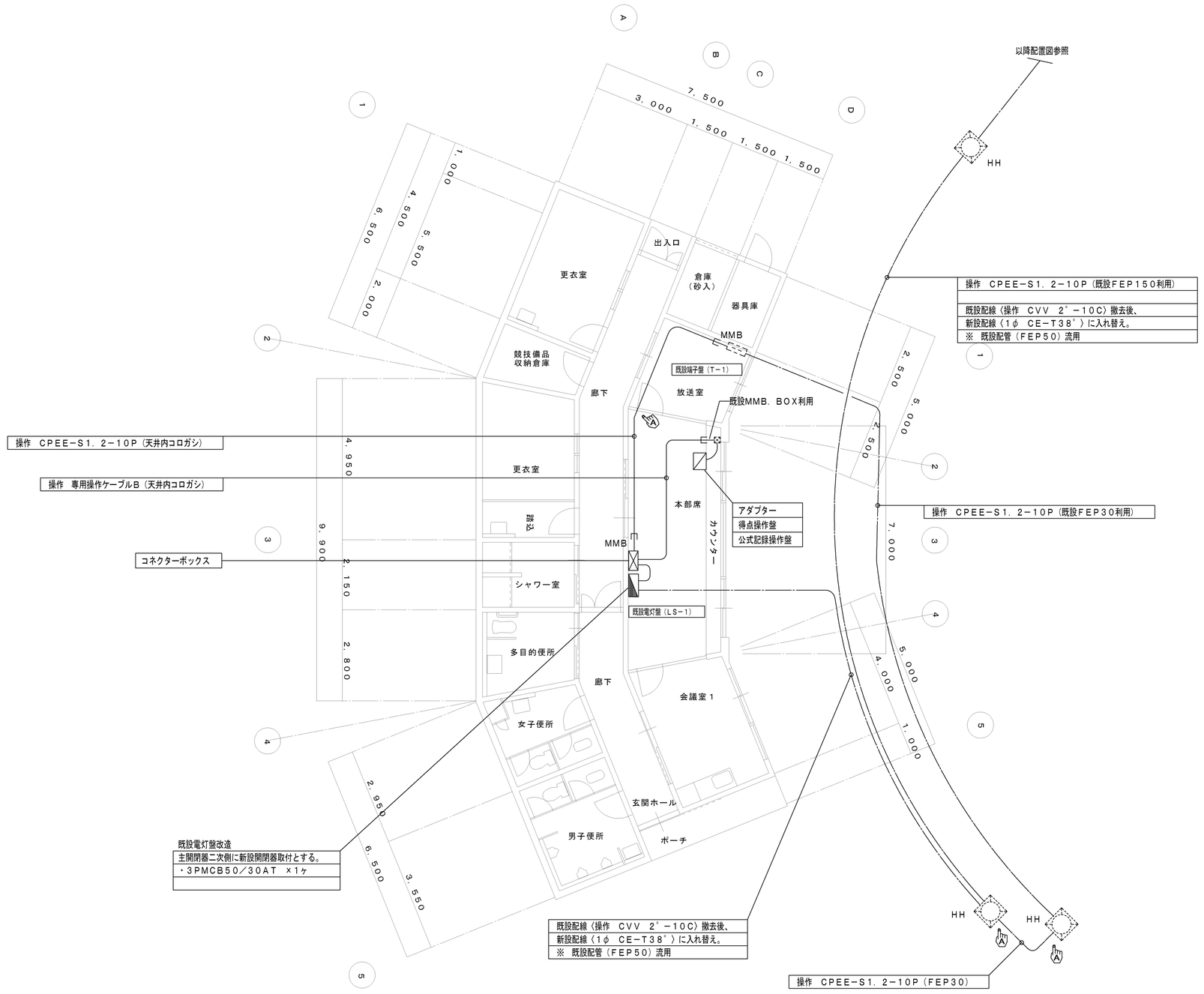
◉電灯設備	電気方式　種別	○単相３線式（２００／１００Ｖ）　◉単相２線式（◉１００Ｖ　○２００Ｖ　○（　　）Ｖ）
	工事範囲	◉配管　◉配線　◉機器取付　◉ポール灯基礎工事
	配線器具	◉特別なものを除き大角型とする
	プレート	◉新金属　○ステンレス　○フルカラー（　　）
	照明器具	◉蛍光灯の２０W以上、ＨＩＤ器具の安定器は何れも省電力型を優先とする。 ◉パイプ吊りの照明器具は振れ止めを施工する。
	フロアーコンセント	◉アップコン　○収納式（上下可動）　○固定式
	非常照明	◉ＢＴ内蔵型　○ＢＴ別置き型
	照度測定	◉行う（各居室　３ポイント）　○行わない
◉電灯・動力幹線設備	電気方式	◉単相３線式（２００／１００Ｖ）　○単相２線式（２００Ｖ）　６０Ｈｚ ◉三相３線式（２００Ｖ）　６０Ｈｚ
	工事範囲	◉配管　◉配線　◉機器取付　◉引込　◉引込み工事負担金　◉警報設備
	盤類形式	◉埋込み型　◉露出型　◉民間仕様　◉盤内には、施工年月、請負者名、施工者名を記載する。
	雷サージ保護	○設置（・単相用・動力用）　◉設置しない　○ＳＰＤ（低圧用）　○クラスⅠ　○クラスⅡ
	その他	○警報設備　○動力設備
◉スコアボード改修設備	電気方式	◉単相３線式（２００／１００Ｖ）　○架空　◉地中
	工事範囲	◉配管　◉配線　◉機器取付調整　◉スコアボード　◉コネクターボックス　◉アダプター ◉得点操作盤
	スコアボード	◉チーム名表示盤　◉得点表示盤　◉得点・合計得点表示盤　○選手名表示盤　○守備位置表示盤 ◉攻撃表示灯　◉ＢＳＯ表示盤　◉塔時計（φ１２００）　◉塔時計調針器　◉壁掛型親時計 ◉長波受信ユニット
	操作方法	◉本部席より操作（得点操作盤・公式記録操作盤）
	その他	○

電気設備工事指定資機材適用規格及びメーカーリスト

分　類	資　機　材　名	適　用　範　囲	規　格　・　メ　ー　カ　ー　等
スコアボード			セイコータイムシステム株式会社 日精機電株式会社 パナソニックＥＳエンジニアリング株式会社 富士通フロンテック株式会社
電線	電線、ケーブル類（エコ電線・ケーブルを優先使用）	一般配線工事に使用するもので、エコ電線・ケーブルのあるもの	●ＪＩＳ規格適合品 ●ＪＣＳ（日本電線工業会規格）規格適合品
		上記以外の一般配線工事に使用するもの	●ＪＩＳ規格適合品
	耐火、耐熱電線	耐火・耐熱性を必要とする場所に使用するもの	●登録認定機関（（社）電線総合技術センター）または指定認定機関（（社）日本電線工業会（耐火・耐熱電線認定業務委員会））により認定または評定されたもの ●（社）日本電線工業会により自主認定（評定）されたもの
	圧着端子 裸圧着スリーブ	一般配線工事に使用するもの	●ＪＩＳ規格適合品
電線保護物類	金属管、ＶＥ、ＰＦ、ＨＩＶＥ、ＦＥＰ、ＣＤ、合成樹脂製可とう管、可とう電線管、フロアダクト、各付属品	一般配線工事に使用するもの	●ＪＩＳ規格適合品 ●ＪＩＳ規格のない物にあっては、電気用品の技術上の基準を定める省令の適合品
配線器具	コンセント、スイッチ	一般配線工事に使用するもの	●ＪＩＳ規格適合品 ●ＪＩＳ規格のない物にあっては、電気用品の技術上の基準を定める省令の適合品
照明器具	蛍光灯器具 （省エネ型を優先使用）		●ＪＩＳ規格適合品 ●（社）日本照明器具工業会標準（ＪＩＬ規格）適合品 ※メーカーは「設備機材等評価名簿」による
盤類	分電盤、実験盤		●ＪＩＳ規格適合品 ※メーカーは「設備機材等評価名簿」による
マンホール ハンドホール	蓋	鋳鉄製	※メーカーは「設備機材等評価名簿（機械設備機材評価名簿 鋳鉄製ふた）」による
	桝	レディミクストコンクリート、セメント	●ＪＩＳ規格適合品

注　・「ＪＩＳ規格適合品」と指定された資材は、工業標準化法に基づく適合の表示（製品・包装の外面、容器の外面、結束荷札ごとの納品書にＪＩＳマーク表示、またはＪＩＳ規格証明書等の添付）のあるものをいう。
・「設備機材等評価名簿」とは、国土交通省官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業　設備機材等評価名簿（電気設備 機 材 機械設備機材）」の最新版をいう。ただし、納入地区及びアフターサービス地区に中部地区または近畿地区が含まれ、評価の有効期間内にある場合にのみ有効とする。
・「設備機材等評価名簿」に記載されていないメーカーの資機材を使用する場合は、評価基準と同じ条件を満たすことを証明する書類を監督員に提出し、承諾が得られた場合のみ使用できるものとする。
・特殊仕様の資機材を使用する必要がある場合は、仕様、性能等を証明する書類を監督員に提出し、承諾が得られた場合のみ使用できるものとする。

PROJECT 上野運動公園野球場 スコアボード整備工事			PROJECT NO.
DRAWING 電気設備　特記仕様書			SCALE
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE
			DRAWING NO. E－1(8)



MMB	露出ケーブル部分の保護　（メタルモールジングB形）
A	------ ハツリ貫通及び補修ヶ所を示す。

PROJECT 上野運動公園野球場 スコアボード 整備工事			PROJECT NO.
DRAWING 電気設備　本部席廻り設備図			SCALE 1：100
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE
			DRAWING NO. E−2

操作　CPEE−S1．2−10P（既設FEP150利用）

既設配線（操作　CVV　2゜−10C）撤去後、
新設配線（1φ　CE−T38゜）に入れ替え。
※　既設配管（FEP50）流用

操作　CPEE−S1．2−10P（既設FEP150利用）

既設配線（操作　CVV　2゜−10C）撤去後、
新設配線（1φ　CE−T38゜）に入れ替え。
※　既設配管（FEP50）流用

N

電灯盤L−1・L−2・SBO電源盤
積算電力計
P．BOX−600゜×400（SUS）wp

NO1

P．BOX（wp）SUS
400x400*300

電力会社柱

1φ　CE−T　38゜　　（FEP80）
操作　CPEE−S1．2−10P（FEP30）

NO3

HH

既設倉庫

NO5

3塁ベンチ

HH

T−1

LS−1

HH　HH

1塁ベンチ

NO6

国道422号

道路境界線

P．BOX（wp）SUS
400x400*300

1φ　CE−T　38゜　　（G54）露出
操作　CPEE−S1．2−10P（G36）露出

WC 1

電力会社柱

P．BOX（wp）SUS
400x400*300

E14゜（VE16）

ED

新設スコアボード（別図参照）
※既設スコアボード撤去

1φ　CE−T　38゜　　（FEP80）
操作　CPEE−S1．2−10P（FEP30）

道路境界線

NO2

NO4

隣地境界線

PROJECT 上野運動公園野球場 スコアボード 整備工事			PROJECT NO.
DRAWING 電気設備　スコアボード 改修配置図			SCALE 1:600
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE
			DRAWING NO. E−3

仕様書

１．概要

本システムは８色表示以上のマルチＬＥＤ素子を使用した省電力型のスコアボード装置とする。
チーム名表示部、得点表示部の各表示部は８色表示以上のマルチＬＥＤ素子を採用した自動表示型とする。
判定表示部はＬＥＤランプ方式又は、ＬＥＤ素子内に表示出来るものとする。

２．機器構成

本装置は次の各機器から構成されるものとする。

（１）スコアボード表示部

表示盤・・・・	チーム名表示盤	１式
	得点表示盤	３台
	得点・合計得点表示盤	１式
	ＢＳＯＨＥＦｃ表示盤（表示制御部内蔵）	１式
	塔時計表示盤	１式

（２）コネクターボックス　１式
（３）得点操作盤　１台
（４）アダプター　１台
（５）公式記録操作盤　１台
（６）予備品　１式

３．機器仕様

３－１．スコアボード表示部

３－１－１．チーム名表示盤、得点表示盤、得点・合計得点表示盤

１．文字高４８０mmとし、文字種別は以下の通りとする。
（１）チーム名表示盤　全角３文字（４文字以上は圧縮すること）
（２）得点表示盤　０～９９、ｘ
（３）得点・合計得点表示盤　０～９９
２．本体は鋼板製（ｔ＝１．６）を使用する。
３．塗装は下地処理・錆止め塗装後、ウレタン樹脂塗装とする。
４．塗装色は黒色（Ｎ－１．０）５分艶とする。
５．表示盤は防雨構造とする。
６．使用素子は□４００mm以上とし、一般表示色は白色とする。
７．表示素子の交換及び保守点検はすべて背面より行う構造とする。
８．表示盤の視認距離は１４５m以上（漢字１５画以下）、視認角度は左右±６０°とする。
９．１ユニットあたりのドット構成は１６ｘ１６ドット以上とする。
１０．機能／表示サイズが同等以上で有れば、フルマトリックス構成に表示しても可能とする。
１１．輝度は、４０００ｃｄ／㎡以上とする。
１２．素子・・・砲弾型高輝度フルカラーＬＥＤ（国産製を基本とすること）
３つ玉構成時・・・絵素ピッチ３０㎜以下・ドットピッチ３０㎜以下
４つ玉構成時・・・絵素ピッチ２５㎜以下・ドットピッチ１２．５㎜以下

３－１－２．ＢＳＯＨＥＦｃ表示盤（表示制御部内蔵）

１．ランプは以下の場合に点灯させるものとする。
（１）Ｂ、Ｓ、Ｏランプ　現在のカウントに合わせて点灯させるものとする。
（２）Ｈ、Ｅ、Ｆｃランプ　該当する行為が起こった時点で点灯させ、一定時間後自動的に消灯するものとする。
２．本体は鋼板製（ｔ＝２．３）を使用する。
３．塗装は下地処理・錆止め塗装後、ウレタン樹脂塗装とする。
４．塗装色は黒色（Ｎ－１．０）５分艶とする。
５．表示盤は防雨構造とする。
６．レンズは口径φ２５０mmのアクリル製とする。
７．使用ランプはＬＥＤランプとする。
８．ランプ色は下記の通りとする。
Ｂ：青緑色
Ｓ：黄色
Ｏ：赤色
Ｈ：赤色
Ｅ：赤色
Ｆｃ：赤色
９．ＢＳＯＨＥＦｃ表示盤には表示用制御装置を内蔵するものとする。
１０．機能／表示サイズが同等以上で有れば、フルマトリックス構成に表示しても可能とする。

３－１－３．塔時計表示盤

１．本体は鋼板製（ｔ＝１．６）を使用する。
２．塗装は下地処理・錆止め塗装後、ウレタン樹脂塗装とする。
３．塗装色は黒色（Ｎ－１．０）５分艶とする。
４．表示盤は防雨構造とする。
５．親時計からの子時計信号によって駆動制御される直流式親時計駆動制御型のφ１２００塔時計とする。
６．長波受信ユニットにより標準電波を自動的に受信して、常に正確な時刻に修正するものとする。
７．１分間欠運針とし、停電補償付とする。
８．文字はスコアボード前面パネル貼付けとする。
９．塔時計表示盤には、攻撃表示灯を有する。
（１）レンズは口径φ２５０mmのアクリル製とする。
（２）使用ランプはＬＥＤランプとする。
（３）ランプ色は赤色とする。

３－２．コネクターボックス

１．屋内壁掛型とする。
２．操作器よりの信号をスコアボードへの適切な配線に割り振るものとする。
３．信号線には、避雷器を設け落雷予防をすること。

３－３．得点操作盤

１．卓上型の操作器とし、チーム名・得点及び判定操作に関する全ての操作を行うものとする。
２．電源スイッチをＯＮすることにより、得点操作ソフトが自動立ち上げできるものとする。
３．「ｘ」表示は、「ｘ」表示用スイッチにより操作できるものとする。
４．試合が１１回以上の延長に入った場合は、合計得点はそのまま継続計算され、１回から１０回までの得点のみ自動消去するものとする。
５．アウトカウントを押下することにより、ボールカウントの自動消去が行えるものとする。
６．ＨＥＦｃ部は消灯忘れ防止のため一定時間後自動消灯するものとする。
合計得点は自動加算されるものとする。
７．誤操作時には「リバース」釦押下により、１つ前の表示状態に戻るものとする。
８．全イニングの得点及びカウントをモニター表示できるものとする。
９．テストスイッチにてスコアボード表示テストが行えるものとする。

３－４．アダプター

１．スコアボード側の電源を制御できるものとする。

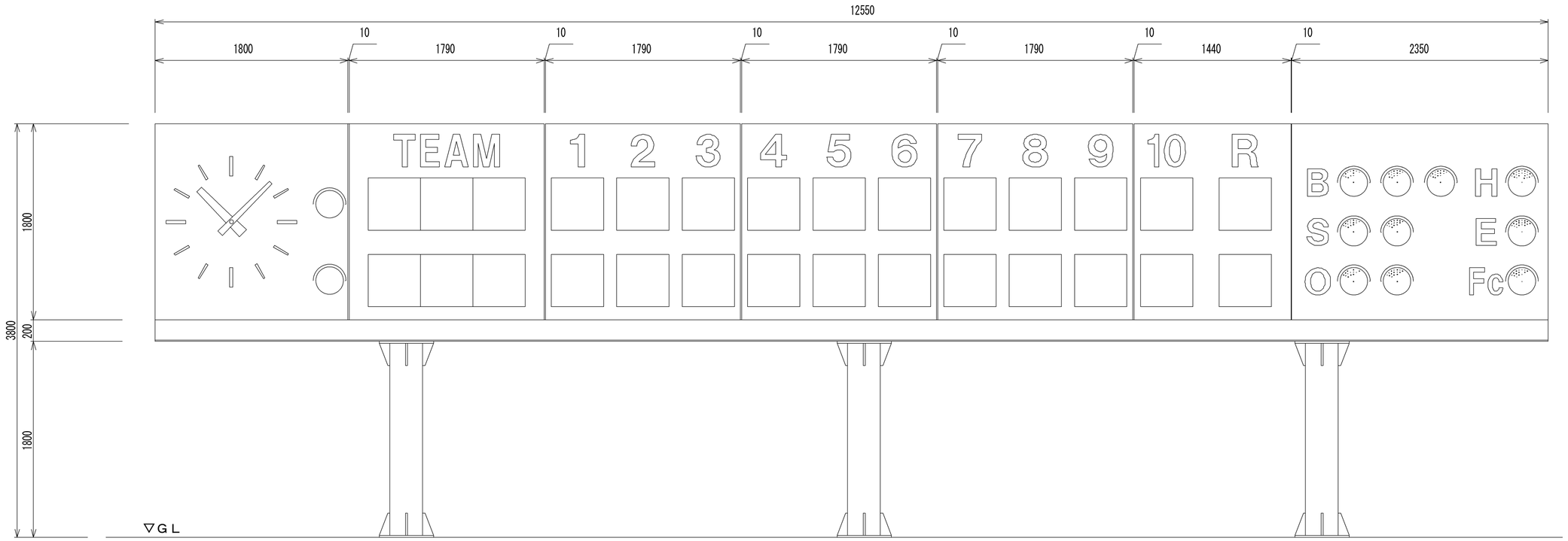
３－５．公式記録操作盤

１．得点操作盤が操作室でコネクターボックスに接続されて使用されている際にＨＥＦｃの操作を行えるものとする。
２．操作器はタッチパネル式又は、押し釦式とする。
３．消し忘れ防止自動消灯の機能を持つものとする。
４．本操作機器使用時は得点操作盤でのＨＥＦｃ操作ができないようロックをかけるものとする。

３－６．予備品・付属ケーブル

１．各機器の接続ケーブルを各一式付属する。
２．予備品として下記のものを添付するものとする。
（１）ＬＥＤユニット（１６×１６ドット）　１個
（２）ＬＥＤユニット用基板　１枚
（３）制御盤用リレー　１個

PROJECT: 上野運動公園野球場 スコアボード 整備工事			PROJECT NO.
DRAWING: 電気設備　スコアボード 仕様書			SCALE
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE
			DRAWING NO. E−4



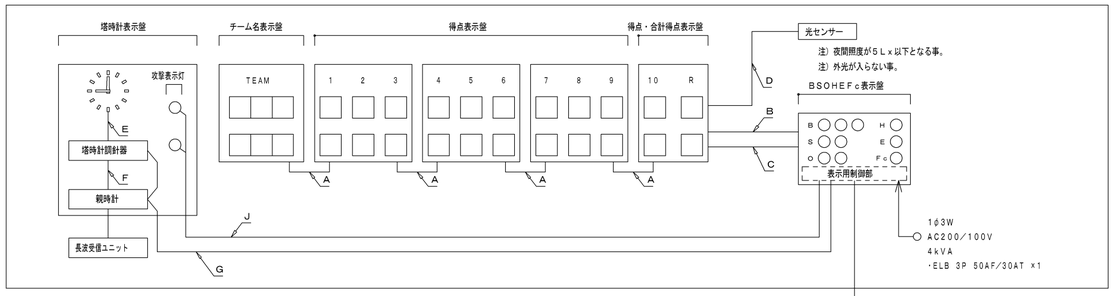
※表示部分は、フルマトリクス構成でも可能

参考図

PROJECT 上野運動公園野球場 スコアボード 整備工事			PROJECT NO.	
DRAWING 電気設備　スコアボード 外観図			SCALE 1:30	
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE	
			DRAWING NO. E−5	

システム系統図

<スコアボード>

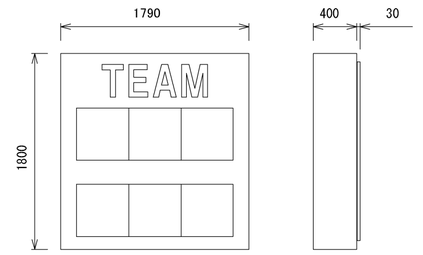


A	付属ケーブル		（表示用信号線）
	付属ケーブル	AC100V・200V	（表示用電源線）
B	付属ケーブル	RS422	（表示用信号線）
	付属ケーブル	AC100V	（制御用電源線）
C	付属ケーブル	AC200V	（表示用電源線）
D	付属ケーブル	AC100V	（制御線）
E	付属ケーブル	DC24V	（塔時計信号）
F	付属ケーブル	DC24V	（子時計信号）
G	付属ケーブル	AC100V	（電源線）
H	付属ケーブル	15m	
I	付属ケーブル	2m	
J	付属ケーブル	AC100V	（ランプ電源線）

※表示用信号・制御線は、メーカー仕様とする

チーム名表示盤

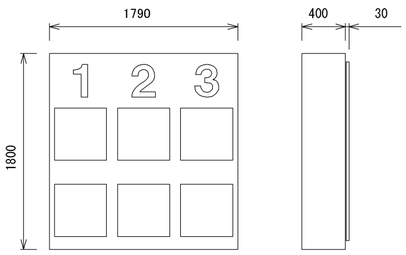
1台



重　量	約３５０ｋｇ
表示素子	□４８０mm　８色ＬＥＤ素子
表示文字	縦１６ｘ横４８ドット　全角３文字表示　×２
ケース	鋼板　ｔ＝１．６　黒色ウレタン樹脂塗装
名　称	耐候性シート貼　白色

得点表示盤

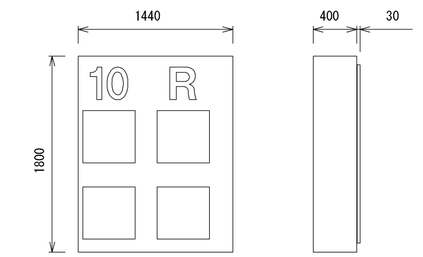
3台



重　量	約３５０ｋｇ
表示素子	□４８０mm　８色ＬＥＤ素子
表示文字	縦１６ｘ横１６ドット　０～９９、ｘ表示　×６
ケース	鋼板　ｔ＝１．６　黒色ウレタン樹脂塗装
名　称	耐候性シート貼　白色

得点・合計得点表示盤

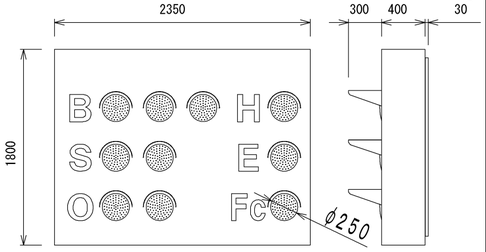
1台



重　量	約２９０ｋｇ
表示素子	□４８０mm　８色ＬＥＤ素子
表示文字	縦１６ｘ横１６ドット　０～９９表示　×４
ケース	鋼板　ｔ＝１．６　黒色ウレタン樹脂塗装
名　称	耐候性シート貼　白色

ＢＳＯ表示盤

1台

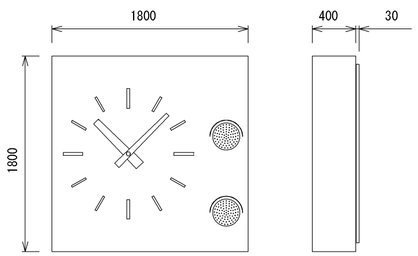


※表示制御部内蔵

重　量	約３８０ｋｇ
主幹ブレーカー	ＥＬＢ　３Ｐ　５０ＡＦ／３０ＡＴ
ランプ	ＬＥＤ　φ２５０　Ｂ：青緑Ｓ：黄色　ＯＨＥＦｃ：赤
レンズ	アクリル　透明
ケース	鋼板　ｔ＝２．３　黒色ウレタン樹脂塗装
名　称	耐候性シート貼　白色

塔時計表示盤

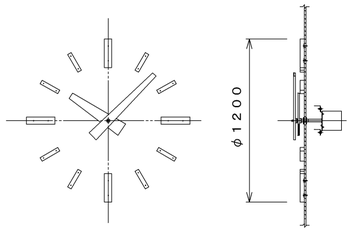
1台



重　量	約２６０ｋｇ
攻撃表示灯	ＬＥＤ　φ２５０　赤
ケース	鋼板　ｔ＝１．６　黒色ウレタン樹脂塗装

塔時計本体（φ１２００）

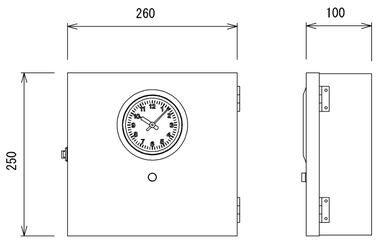
1台



重　量	約２０ｋｇ
入力電力	ＤＣ２４Ｖ（塔時計調針器より） 約１０ＶＡ（最大）
機　械	直流式　１分間欠運針
機械カバー	鋼板　黒色メラミン焼付　防雨型構造
指　針	アルミ　白色アクリル樹脂塗装
文　字	アルミ　白色アクリル樹脂塗装

塔時計調針器

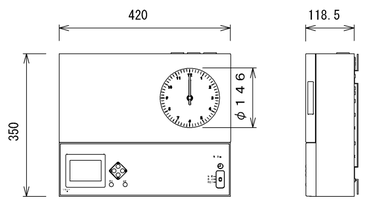
1台



重量	約８ｋｇ
表ガラス	ガラス　ｔ＝２
入力電源	ＡＣ１００Ｖ　５０／６０Ｈｚ　５０ＶＡ
指針	アルミ　ｔ＝０．３　黒色　メラミン焼付塗装
ケース	鋼板　ｔ＝１．６　標準色メラミン焼付塗装

壁掛型親時計

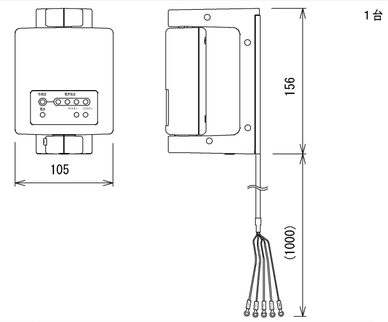
1台



定格	ＡＣ１００Ｖ±１０％　５０Ｈｚ／６０Ｈｚ　７Ｗ
子時計出力	ＤＣ２４Ｖ　３０秒有極パルス　パルス幅０．５秒
ケース	前ケース・後ケース：鋼板　オイスターグレー色塗装 スイッチパネル：ＡＢＳ樹脂　オイスターグレー色

長波受信ユニット

1台



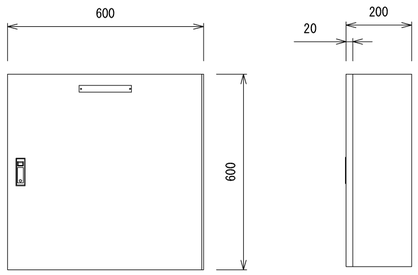
受信電波	長波ＪＪＹ（標準電波）
受信周波数	４０ｋＨｚ／６０ｋＨｚ（自動切替式）
受信感度	５０ｄＢμＶ／ｍ以下
ケース	ＰＣ樹脂　クールホワイト色
付属品	付属ケーブル（１ｍ）×１

参考図

PROJECT	上野運動公園野球場 スコアボード 整備工事		PROJECT NO.
DRAWING	電気設備　スコアボード システム系統図・姿図1		SCALE
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE
			DRAWING NO. E−6

コネクターボックス

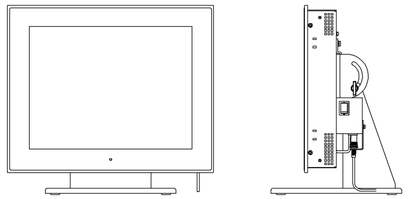
1台



重　量	約２０ｋｇ
ケース	鋼板　ｔ＝1．６　クリームホワイト色メラミン焼付塗装

得点操作盤

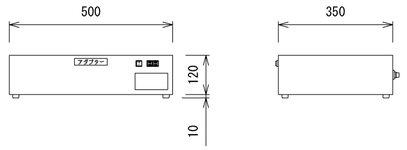
1台



重量	約６ｋｇ
入力電源	ＡＣ１００Ｖ　５０／　６０Ｈｚ　５０Ｗ
コネクター	ＲＳ２３２Ｃ
表示部	１２．１インチ　ＴＦＴ液晶（1，０２４×７６８　２６万色表示）
タッチパネル	アナログ抵抗膜方式
本体	鋼板製　３１６（Ｗ）×４３．８（Ｄ）×２５６（Ｈ）
付属品	付属ケーブル（２ｍ）×２

アダプター

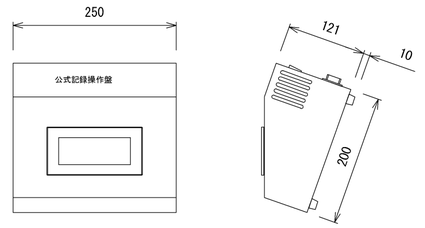
1台



入力電源	ＡＣ１００Ｖ￥Ｕ＋００Ｂ１１０％　５０／　６０Ｈｚ
構造	非防水、卓上型
ケース	鋼板　ｔ＝1．６　クリームホワイト色メラミン焼付塗装
付属品	付属ケーブル（１５ｍ）×２

公式記録操作盤

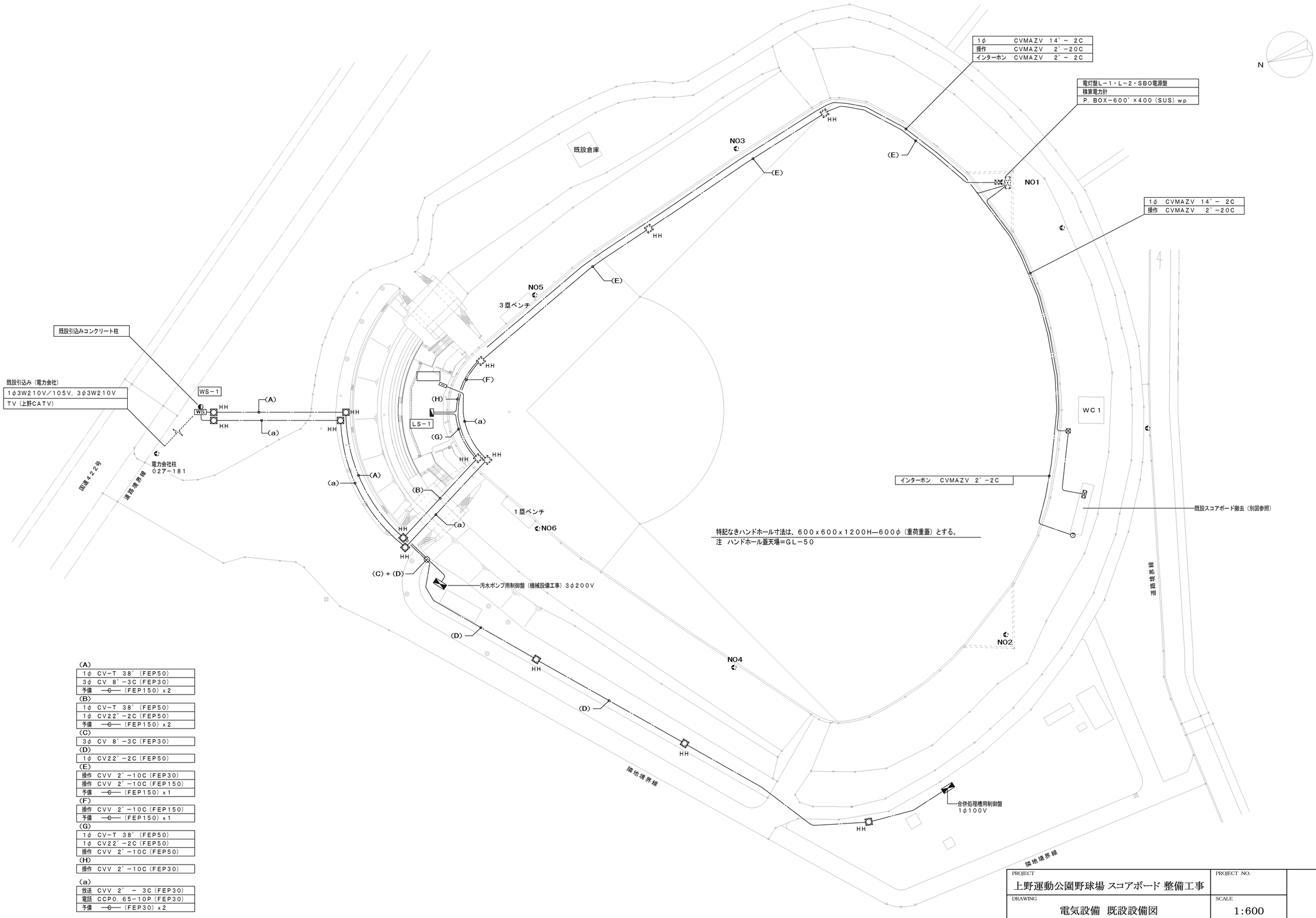
1台



重量	約４ｋｇ
操作表示部	表示素子：ドットマトリクス液晶ディスプレイ又は、押し釦式（ＬＥＤバックライト付）
ケース	鋼板ｔ＝1．６　クリームホワイト色メラミン焼付塗装
付属品	付属ケーブル（１５ｍ）×１

参考図

PROJECT 上野運動公園野球場 スコアボード 整備工事			PROJECT NO.
DRAWING 電気設備　スコアボード 姿図2			SCALE
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE
			DRAWING NO. E－7



(A)

1φ CV－T 38゜（FEP50）
3φ CV 8゜－3C（FEP30）
予備 —○— （FEP150）x2

(B)

1φ CV－T 38゜（FEP50）
1φ CV22゜－2C（FEP50）
予備 —○— （FEP150）x2

(C)

3φ CV 8゜－3C（FEP30）

(D)

1φ CV22゜－2C（FEP50）

(E)

操作 CVV 2゜－10C（FEP30）
操作 CVV 2゜－10C（FEP150）
予備 —○— （FEP150）x1

(F)

操作 CVV 2゜－10C（FEP150）
予備 —○— （FEP150）x1

(G)

1φ CV－T 38゜（FEP50）
1φ CV22゜－2C（FEP50）
操作 CVV 2゜－10C（FEP50）

(H)

操作 CVV 2゜－10C（FEP30）

(a)

放送 CVV 2゜ － 3C（FEP30）
電話 CCP0．65－10P（FEP30）
予備 —○— （FEP30）x2

PROJECT 上野運動公園野球場 スコアボード 整備工事			PROJECT NO.
DRAWING 電気設備 既設設備図			SCALE 1:600
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE
			DRAWING NO. E－8(E)